	No. 17 —	1 基本事務事	業名ひと	≤り親家庭入	学祝い金支給事業	事務事第	業名 ひと	り親家庭入	学祝い会	金支給事業	公的関与 9	シー	一卜作成日	令和2年	8月13日
	部局名	優	建康福祉	-部	課名	子育て支	援課	主務課	長名	/	小松 隆	シー	-卜作成者名	梶	本亜紀
	事業区分	1 ソフト	事業		3 経常的事務事	業 ●	5 補助3	金•負担金	・支援	車業点	運営方法 崖			3 全	部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持管	理	6 内部管	管理事務•	その他	1	E名刀丛		·部委託		亅
		基本構想(政						実施計i	画				の開始・終う		
	総合計画	基本計画(施					<u> </u>	1 該当		平成	年 ~	1-		☑ 期間	
		主要施策	(1)多様な子	育て支援施策の	推進	0	2 非該当		根拠	法令等 阿	皮市ひ	とり親家庭等	児童入学社	兄金支給規則
		対象(誰を、 何を)	母子家原 ている方		子家庭の父、または	父母のい	ずれの監	護も受ける	ことがっ	できないた	め、父母以外(の養育	者の監護を受	受けている!	見童を養育し
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	ひとり親家	家庭等の児童が小・	中学校入	学時にか	かる費用0)軽減を	を図り、児童	置の健全育成の	つためし	こ、入学祝い	金を支給し	ます。
PL		たいのか)	今年度												
AN					ゝますか。(主なも										
N)			・ケーブルテレビで	広報します	す。								
	事業の	② 該当者の													
	活動内容	③ 受給資格													
		④ 祝い金支	給事業を	を行います。											
		5	_								A == == ==		A ==		
		指標名	<u> </u>		は指標設定理由	単位		半成	30 年		令和 元 年		令和 2		最終目標
	数値目標 (事業の目的	支給対象児童数		1人当たり	Jの単価×受給者	人	目標 実績			80 51		80 50		80	
	及び活動内						目標								
	容の達成度						実績								
	を測る指標)						目標								
							実績								
	予算費目	会 計			会計	款	3 民生				児童福祉費		目 1	児童福祉	止総務費
				平成 3	1 1240 121	令和	元	年度決		令和	2 年度 ⁻	-		備考	
		国庫支出			千円				f円			千円			
		県 支 出	金		千円				f円 			千円			
_	直接事業費	地方	債		千円				f円 cm			千円			
00		その他特定則			千円 510 千円				f円 rm		700	千円			
0		一 般 財 計(A)	源		510 千円			500 -	F円 F円			千円			
		正職員工数:	経費 ∩	0.050 人	296 千円	0.050	, l			0.050 人		千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託聯		,.ooo /\	230 [7]	0.000	<u> </u>	200		5.555 人	002	111			
	, (i) <u>J</u>	臨時·嘱託工数·		人	0 千円		人	0	f円	人	0	千円			
		業費(A+B)			806 千円			790			1.002				

				チュ	こック項目					_	次評值	5		_	-次評価の	の説明	明		二次	評価	ā .
		1.					で確保できる等 と響は大きくな		0	少ない	•	大きい			家庭等のり め、また礼			0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	犬況の中、次年	丰度以降実	施す	る緊急性が認	思められない。	. 0	ない	•	ある		めに必要	です。			0	ない	•	ある
	性						法等の改善の余		0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
		4.		D低下がみられ ごスとなってし		隣自	お体と比較し	, てニーズを -	0	いる	•	いない	•					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を写	実現するために	、事業内容	が必	ずしも適切とは	はいえない 。	0	いえなし	,	いえる			金を支給を援として			0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ノネリ化など、 <u>†</u>	施策への貢南	伏度か	が著しく高いと	はいえない。	0	いえなし	,	いえる		いです。	く」及こして	.H W)	1112日	0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	る施策の中で舞	領似・重複	した	:事務事業が存	存在する。	0	する	0	しない						0	する	•	しない
KOHHOK		4.	事業の継続を	をしても成果の	の向上が期	待で	きない。		0	できなし	,	できる						0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗状況	兄が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて多	らっている			り対象児園 こ目標設別			0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	対して成果があ	あまり上が	って	いないと思う	j _o	0	あまり上	:がってし	ない		ん。	一口惊叹人	EIA	2026	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目標	票を達成し	てい	ると思う。		0	概ね達	成してし	 いる						0	概ね達成	してい	る
		4.	目標設定に対	対して十分に目	目標を達成	して	いると思う。		0	十分達	成してに	いる						•	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	てコストが高い	,\ ₀				0	高い	•	適当		効率よくで	できていま	す。		0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	本のノウハウヤ	や新たな制	度を	活用できる。		0	できる	0	できな	۱١					0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	上成果の関係で	で、実施手	段等	を見直す余地	むがある 。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	内方法の変更な	などにより	コス	ト削減の余地	むがある 。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
					— <u>}</u>	欠評	価								=	次評	価				
	評値	五点	必要性	有効性	達成度	Ę	効率性	総合計	平価		必要	性	有	効性	達成原	茰	効率	生	総	合評	-価
	△ ½	後の	4 ○ 拡大·充	4 E実 ⊚ 現料	4 :維持	$\overline{}$	4 方法改善	A ○ 民間委	1生		4 垃-	<u>_</u> 大∙充身	e T				<u>4</u> 方法改善	É		A 表	 ¥ 笙
		り性	○ 縮小	○ 統合/約			廃止/休止	〇 以间安	——————————————————————————————————————		- 7.			<u>・ </u>			廃止/休		O KIF		<u> </u>
A			O 1111 3	10 100 117 114	77711272		<i>55—7</i> 111—) 11H	- ,			指摘事項				の相違点	į	
ACH-O		題	事業の周知徿	放底に課題があ	5ります。						4 □ + 3				がします。						
N	計	画	学校•広報誌	• 阿波市ホー <i>ム</i>	 \ページ・ケ	ーブ	ルテレビ等に。		ます。		VH / J / A	ムエン	.υ.	ず木で天	: // 世 しみ 9 。	0					
		員会 事項																			

	No. 17 —	2 基本事務事	業名 子育	育て短期す	5援事業	事系	務事業名	子首	すて短期す	支援事	業		公的関与	5	シート作	成日	令和2年	F8月31日
	部局名	侹	康福祉	部	課名	子育	て支援認	果	主務認	果長名	7	小	松隆		一ト作品	找者名	투	型川 香
	事業区分	○ 1 ソフト?	事業	0	3 経常的事務	事業	○ 5 ₹	甫助会	€∙負担金	è·支	爱	泰 :国·	営方法	1	直営		<u>√</u> 3 <u>4</u>	全部委託
	争未应力	○ 2 ハード	事業	0	4 施設の維持	管理	O 6 F	内部管	查理事務	・その	他	未理	呂刀法	√ 2	一部委託	Ŧ	□ 4 ¾	甫助等
		基本構想(政							実施計	·画				事	業の開始	台·終了	,	
	総合計画	基本計画(施	<mark>策)</mark> (2))子育て支	援の充実			0	1 該当			成	年	~	令和	年	☑ 期間	間設定なし
		主要施策	(6)	要保護児	皇等への対応	の推進		①	2 非該当	4	木	艮拠法	令等	児童福祉	止法、阿波	市子育	て短期支持	爰事業実施要領
		対象(誰を、 何を)	家庭での)養育が困	難になった児童・	や保護を	を必要とす	る母	子									
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	家庭での	養育が困難にな	った児童	置やその	家庭0	の福祉の向	〕上を	図ります	0						
PL		たいのか)	今年度															
AN		具体的にどの	りような流	舌動を行し	ヽますか。(主な	こもの51	つまで)											
N		① 利用申請	の受付															
	事業の	② 受入施設	との調整	ţ														
	活動内容	③ 申請家庭	の状況訓	首														
		④ 支援の決	:定															
		5																
		指標名	ጀ	計算式又	(は指標設定理	由単			平成	30		_	計和 元	年度	令	和 2	年度	最終目標
	数値目標	利用日数		利用状況	の把握ができる			標			100			10	_		100	
	(事業の目的	17711-724		1 1711 1700		^		績			1				0			
	及び活動内	利用児童数		利用状況	の把握ができる	人		標			10			1			10	<u> </u>
	容の達成度 を測る指標)			1 37 10 15 100		^		績			1				0			
	ではらの1月1年/							標										
	マケまり	→ =11		ήП.	∧ =1		_	績	_ = 建		I		ㅁᆇ┶	ıl abb		$\overline{+}$		11 4公 3左 建
	予算費目	会 計	T.		会計	<u> </u>		民生 =		佐	項	_	児童福祉			1		祉総務費
		国庫支出		7成 3		章 令 - 円	1 1	元	年度決	· 昇 千円	令和	2	工	度予算	n		備考	
		県支出	金		2 =					千円				千F 168 千F				
		地方	債			- - 円				千円				100 TF	_			
D	直接事業費	その他特定則				-円				千円					_			
O		一般財	源			-円				千円				86 T F				
		計(A)	<i>////</i>			-円				千円				254 ∓F				
		正職員工数:	経費 0.	.100 人			100 人		604		0.100	人		612 ∓F				
	人件費(B)	臨時·嘱託聯					/					<u> </u>			Ť			
	,	臨時·嘱託工数·		人	0 1	-円	人		0	千円		人		0 ∓F	9			
	全体事	· 業費(A+B)			587 ∓				604					<mark>866</mark> ∓F				

					ェック項目					_	·次評ſ	西		_	-次評価の	の説明	月		二次	評価	Б
		1.					が確保できる等 ジ響は大きくな		0	少ない	,	大き	い	市内や近	を実施して	にない	いので、		少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政制	犬況の中、次	年度以降実	€施す	トる緊急性が認	恩められない。	0	ない	0	ある		利用を希 います。	望してもあ	5きら	める方が	0	ない	•	ある
	性						法等の改善の		•	ある	0	ない		6.49.				•	ある	0	ない
		4.	住民ニーズの上回るサート			「隣自	目治体と比較し	ノてニーズを	0	いる	•	いなし	い					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するために	こ、事業内容	字が必	がずしも適切とに	まいえない 。	0	いえな	い ()	いえる	3		育が困難 不可欠な			0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ノネリ化など、	施策への貢	献度	が著しく高いと	はいえない。	0	いえな	い 💿	いえる	3		業はありま			0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	る施策の中で	類似・重複	夏した	- 事務事業が存	存在する。	0	する	•	しなし	۸,					0	する	•	しない
CHECK		4.	事業の継続を	としても成果	の向上が期	月待て	ごきない 。		0	できな	い (できる	3					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗状	況が劣って	こいる	ると思う。		0	目標に	比べて会	劣ってい	る		<u>にくにないた</u> 方もいます			0	目標に比	べて劣	つている
	達	2.	目標設定に対	対して成果が	あまり上か	べって	こいないと思う	j	0	あまり_	上がってし	いない			けむびょう			•	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目	標を達成し	てし	いると思う。			概ね達	悪成してに	いる						0	概ね達成	してい	る
		4.	目標設定に対	対して十分に	目標を達成	 して	こいると思う。		Ō	十分遺	を成して	いる						0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	てコストが高	ر۱ _°				0	高い	•	適当	i		ある児童で、近隣市			0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	本のノウハウ	や新たな制	刂度を	た活用できる。		0	できる	0	できた	ない	踏まえ、i	適切な委託			0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	と成果の関係	で、実施手	-段等	ទを見直す余 地	しがある。	0	ある	0	ない		ています	0			0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	内方法の変更	などにより	ノコス	スト削減の余地	しがある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
					_	次評	価								Ξ	次評	価				
	評化	甲	必要性	有効性	達成	芰	効率性	総合評	F価		必要		4	与効性	達成原	茰	効率性	生	総	合評	· 価
	△ ½	を の	3 ○ 拡大·充	4 	_ 2 _ 状維持	О	<u> 4 </u> 方法改善	A ○ 民間委	千笙	(3 ○ 拡:	 大•充	宔		<mark> 2</mark> ⊬維蛙		<u>4</u> 方法改善	É		A 表	千笙
		句性	○ 縮小		<u></u> 終期設定	0	<u>/// </u>	〇 民间安日	——————————————————————————————————————	_			$\widehat{\Box}$	統合/終			<u> </u>		O KIF	134	U 47
C			0 1111	10 100 110	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~		70				<u> </u>	-			指摘事項				の相違点	į	
ACTIO							ので、利用するいる方がほとん			禾					課題はあり						いると考
N	と多	【行		にいれ検討し	ます。また	、特に)利用など、その に養育が困難な ろめます。			~ ~	Lられる	。 ので、 	有交	かな周知方	ī法を工夫	し、引	き続き事	業を	実施します 	۲。	
		員会 i事項																			

	No. 17 —	3 基本事務事	業名 児童	2 信侍防业	上争某	事務事業	美名 要保	護児童対策地	域協議会	事務 公的関与	1 シ	一卜作成日	令和2年	8月11日
	部局名		康福祉			子育て支		主務課長名		小松 隆		−ト作成者名		井 博美
	事業区分	○ 1 ソフト	事業	(3 経常的事務事	業 🔘	5 補助3	金•負担金•支	援	業運営方法	✓ 1 値		3 全	全部委託
	争未区力	○ 2 ハード	• • • • •		4 施設の維持管理	理	6 内部管	管理事務・そ <i>σ</i>)他 事	未连古刀仏		-部委託		亅
		基本構想(政	-		やかな阿波			実施計画				の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施						1 該当	平		~ 令	和年	期間	設定なし
		主要施策	(6)	要保護児	童等への対応の	推進	0	2 非該当	根	! 拠法令等	児童福祉法	、阿波市要保護	対策地域協議	会設置運営要綱
			特に保護 係機関	の必要なり	児童や養育支援が	必要な児童	童とその信	呆護者、出産後	の養育に	ついて出産前	においてす	支援を行うこと	が特に必要	要な妊婦、関
		目的(どういう状態にし	最終的		が対象の子ども等1 必要な児童などの!					協議を行って	、適切な連	携のもとに対	応していく	ことにより、特
PL		たいのか)	今年度											
AN				動を行い	ますか。(主なもの	の5つまで	で)							
N		① 相談の受												
		② 対象児童												
	活動内容	③ 関係機関			を協議									
		④ 各会議の	日程調整	等										
		5												
		指標名	<u> </u>	計算式又	は指標設定理由	単位		平成 30		令和 元		令和 2	年度	最終目標
	双胆口尔	代表者·実務者会 回数	議の開催	活動の状況	況を示すため	回	目標		10		10		10	10
	数 個 日 保 (事業の目的	回数					実績		10 10 20		10		20	10
	数値口候 (事業の目的 及び活動内 容の達成度	□ *b			況を示すため 況を示すため	<u> </u>			10					10
	が (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	回数個別ケース検討会回数	議の開催	活動の状況	況を示すため	0	実績 目標 実績 目標		10 20		10 20			10
	(事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	回数 個別ケース検討会 回数 家庭児童相談員活	議の開催	活動の状況相談の新規	況を示すため 規及び継続件数	回件	実績 目標 実績 実績		10 20 22 110 164		10 20 15 110 173		110	
	(事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	回数個別ケース検討会回数	議の開催	活動の状況 相談の新記 一般電	況を示すため 規及び継続件数 会計	四 件	実績 目標 目標 実標 3	民生費	10 20 22 110 164 項		10 20 15 110 173 童福祉費		110	10
	(事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標) 予算費目	回数 個別ケース検討会 回数 家庭児童相談員活 会 計	活議の開催 活動件数 平	活動の状況相談の新規	況を示すため 規及び継続件数 会計) 年度決算	回件	実績 目標 実績 実績	年度決算	10 20 22 110 164		10 20 15 110 173 童福祉費 :度予算		110	
	(事業の目的) 及び活動内容の達成度を測る指標) 予算費目	回数 個別ケース検討会 回数 家庭児童相談員活 会 計	活動件数 平金	活動の状況 相談の新記 一般電	況を示すため 規及び継続件数 会計) 年度決算 _{千円}	四 件	実績 目標 目標 実標 3	年度決算 千円	10 20 22 110 164 項		10 20 15 110 173 童福祉費 度予算		110	
	(事業の目的) 及び活動内容の達成度を測る指標) 予算費目	回数 個別ケース検討会 回数 家庭児童相談員活 会 計 国庫支出 県支出	議の開催 活動件数 平 金 金	活動の状況 相談の新記 一般電	況を示すため 規及び継続件数 会計) 年度決算 _{千円}	四 件	実績 目標 目標 実標 3	年度決算 ^{千円} 千円	10 20 22 110 164 項		10 20 15 110 173 童福祉費 连度予算 千円		110	
	(事業の目的) 及び活動内容の達成度を測る指標) 予算費目	回数 個別ケース検討会 回数 家庭児童相談員活 会 計 里 庫 支 出 地 方	議の開催	活動の状況 相談の新記 一般電	況を示すため 規及び継続件数 会計 年度決算 千円 千円 千円	四 件	実績 目標 目標 実標 3	年度決算 千円 千円 千円	10 20 22 110 164 項		10 20 15 110 173 童福祉費 :度予算 +円 +円		110	
DO	(事業の目的) 及び活動内容の達成度を測る指標) 予算費目	回数 個別ケース検討会 回数 家庭児童相談員派 会 計 国 庫 支 出 児 支 出 地 方 その他特定則	議の開催 野動件数 平 金 金 信 す	活動の状況 相談の新記 一般電	況を示すため 規及び継続件数 会計) 年度決算 千円 千円 千円 千円	四 件	実績 目標 目標 実標 3	年度決算 千円 千円 千円	10 20 22 110 164 項		10 20 15 110 173 童福祉費 E 予算 FP FP FP FP		110	
DO	(事業の目的) 及び活動内容の達成度を測る指標) 予算費目	回数 個別ケース検討会 家庭児童相談員活 会 計 支 出 地 方 で 他特定則 ー 般 財	議の開催	活動の状況 相談の新記 一般電	況を示すため 規及び継続件数 会計 0 年度決算 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	四 件	実績 目標 目標 実標 3	年度決算 千円 千円 千円 千円 12 千円	10 20 22 110 164 項		10 20 15 110 173 重福祉費 E 下 等 千円 千円 千円 千円		110	
	(事業の目的) 及び活動内容の達成度を測る指標) 予算費目 直接事業費	回数 個別ケース検討会 家庭児童相談員活会 計 宝庫支出 地 その他特定則 一般財 計(A)	議の開催 5動件数 平金 金 情 オ源	活動の状 相談の新 一般 成 30	況を示すため 規及び継続件数 会計 0 年度決算 千円 千円 千円 20 千円 20 千円	回 · 款 令和	実績 目標 目標 実標 3	年度決算 千円 千円 千円 12 千円	10 20 22 110 164 項 令和	2 年	10 20 15 110 173 童福祉費 手度予算 千円 千円 千円 千円 20 千円		110	
	(事業の目的) 及び活動内容の達成度を測る指標) 予算費目 直接事業費	回数 個別ケース検討会 家庭児童相談員活会 計 支 計 地 方 その他特定則 ー 般 は トー 取 ・一 取 ・一 取 ・一 取 ・一 取 ・一 取 ・一 取 ・一 取 ・一	議の開催 手動件数 ・ 金 ・ 金 ・ 債 ・ オ源 ・ 経費 0.	活動の状 相談の新 一般 成 30	況を示すため 規及び継続件数 会計	回 件 令和	実績 実績 実績 実績 実績 実績 実績 スポーツ スポ	年度決算 千円 千円 千円 12 千円 12 千円 604 千円	10 20 22 110 164 項	2 年	10 20 15 110 173 重福祉費 E 下 等 千円 千円 千円 千円		110	
	(事業の目的 及び活動内 容の達成標) 予算費目 直接事業費	回数 個別ケース検討会 家庭児童相談員活会 計 宝庫支出 地 その他特定則 一般財 計(A)	議の開催 活動件数 平金 金債 វ源 経費 0.	活動の状 相談の新 一般 成 30	況を示すため 規及び継続件数 会計 0 年度決算 千円 千円 千円 20 千円 20 千円	回 件 令和	実績 目標 目標 実標 3	年度決算 千円 千円 千円 12 千円 12 千円 604 千円	10 20 22 110 164 項 令和	人 家庭相談員	10 20 15 110 173 童福祉費 手度予算 千円 千円 千円 千円 20 千円		110	

					こック項目					_	-次評(西		_	-次評価の	の説	月		二次	評価	i .
		1.	市が実施しなり主体があり、						0	少なし	,	大き		当協議会	への対応 が中心と	なって		0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状況	況の中、次年	丰度以降実	施す	る緊急性が認	恩められない。	0	ない	0	ある		いく必要	があります	•		0	ない	•	ある
	性		住民満足度の向						0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの(上回るサービス			隣自	治体と比較し	てニーズを	0	いる	•	いな	(1					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を実	現するために	、事業内容	が必	ずしも適切とに	まいえない 。	0	いえな	い ●	いえ	る		適切に対議会を通し			0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマンネ	ネリ化など、カ	施策への貢献	献度な	が著しく高いと	はいえない。	0	いえな	い 💿	いえ	る	関が連携	しなければ			0	いえない	•	いえる
C	性	3.	市が実施するが	施策の中で舞	類似・重複	した	事務事業が存	存在する。	0	する	•	しない	い	ん。				0	する	•	しない
CHECK		4.	事業の継続を	しても成果の	の向上が期	待て	きない。		0	できな	ι •	でき	る					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対し	して進捗状況	兄が劣って	いる	と思う。		0	目標は	比べて針	劣ってい	る		計画に沿 きています		開催する	0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対し	して成果があ	あまり上が	うて	いないと思う	j.	0	あまり.	上がってし	いない		,	5 (0.4)	0		0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対し	して概ね目標	票を達成し	てし	いると思う。		0	概ね遺	を成してに	いる						0	概ね達成	してい	3
		4.	目標設定に対し	して十分に目	目標を達成	して	いると思う。		•	十分道	達成して	いる						•	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて:	コストが高い	,۱۰				0	高い	•	適当	á					0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体の	のノウハウヤ	や新たな制	度を	活用できる。		0	できる	•	でき	ない					0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	ず果の関係で	で、実施手	段等	を見直す余地	しがある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約ス	方法の変更な	などにより	コス	く ト削減の余地	しがある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
					—;	次評	価								Ξ	次評	価				
	評化	甲	必要性	有効性	達成原	支	効率性	総合評	価		必要	性	1	勃性	達成原	芟	効率	生	総	合評	·価
	△ ½	を の		4 実	<mark>│ 4</mark> ⊬維培	0	<u> 4 </u> 方法改善	A ○ 民間委託	千笙	1	<u>4</u>)拡:	大•充	宝		 4 ⊬維蛙		<u>4</u> 方法改善	É		A 表記	<u> </u>
		句性		統合/終		<u> </u>	<u>/// </u>	〇 民间安日						統合/終			<u>万么设。</u> 廃止/休		O KIF	134	
C			U III I				11 =					-			指摘事項				の相違点	į	
ACTIO		面の 題	実務者会議には 児童相談所も選	は、教育委員 連携を深め情	会・各関係 報を共有す	機関	が参加している。要があります	ますが、今後も 。	警察	ע					な児童や教						
N	وع	草案 官行 ·画	引き続き、当協	議会への協力	力と理解を	各関	係機関に求め	ていきます。			ます。	×016	本/こ (/ IX UIXI I	לן צמו אי		= 175 C		J #7	トセズル
		員会 i事項																			

	No. 17 —	4 基本事務事	業名 児童	童公園維持	寺管理事業	事	務事業	名 児童	5公園維持	寺管理	事業	公的	関与 1 シ	ート作成日	令和2年	
	部局名		康福祉		課名		育て支援		主務認			小松		-卜作成者名		塚久史
	事業区分	○ 1 ソフト			3 経常的事務				€∙負担金			美運営力	」 1 直			全部委託
	争未四万	○ 2 ハード			4 施設の維持		\bigcirc 6	5 内部管	管理事務		他	に圧占し		·部委託	4 ¥	亅
					∵快適な阿波				実施計	·画				の開始・終了	•	
	総合計画	基本計画(施							1 該当		平月				✓ 期間	設定なし
		主要施策	(2))公園•緑:	地の管理体制	の充写	美	<u> </u>	2 非該当	<u> </u>	根	拠法令	等 児童福祉	法		
		対象(誰を、 何を)	地域の児	己童												
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	良好な状	態での管理のも	と、広	く児童等	の利用に	こ供するこ	とを目	的としてい	ハます。				
PL		たいのか)	今年度													
AN		具体的にどの	こような流	舌動を行し	ゝますか。(主な	はもの	5つまで	•)								
N		① 遊具の安														
	事業の	② 施設内の	除草、樹	木の剪定	等											
	活動内容	3														
		4														
		5											, .			
		指標名	<u> </u>		(は指標設定理		単位	- t=	半成	30 年		令和	元 年度	令和 2	年度	最終目標
	数値目標	なし		数値目標なじまない	の設定は、事業	判し		目標								
	(事業の目的			なしまない	0			実績 目標								
	及び活動内 容の達成度							<u>日保</u> 実績								
	を測る指標)							<u>天根</u> 目標								
								実績								
	予算費目	会 計		一般	会計		款	3 民生	-費		項	3 児童	直福祉費	目 1	児童福祉	业総務費
			4	7成 3	0 年度決算	算	令和	元	年度決	:算	令和	2	年度予算		備考	
		国庫支出	金		=	千円				千円			千円			
		県 支 出	金		=	千円				千円			千円			
	直接事業費	地 方	債		=	千円				千円			千円			
D	但汉于木貝	その他特定則				千円				千円			千円			
0		一般財	源			千円			183				632 千円			
		計(A)		100 :		千円	2 12 2		183		0.155		632 千円			
	1 /4 # /= \	正職員工数·網		.100 人	581 ⁼	千円	0.100)	٨	604	千円	0.100	<u>ا</u>	612 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職		, 1		- m				~ m			0			
	夕 /大車:	臨時·嘱託工数· 業費(A+B)	 在	人	0 = 1,132 =			<u>ا</u>	787	千円		人 <u> </u>	0 千円 1,244 千円			
	上沿尹≉	木貝(ATD)			1,132	一门			101	一一			1,244 十円			

				チュ	こック項目					_	次評(西		_	一次評価(の説	明		二次	評価	5
		1.					、確保できる等 と響は大きくな		0	少ない	•	大き	EL1	用されて	園の機能と いる施設。	とそう	でない施	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政物	犬況の中、次年	年度以降実	[施す	る緊急性が認	思められない。	0	ない	•	ある		設があり)ます。(遊 景型3施設、	具施	設1施	0	ない	•	ある
	女性	3.	住民満足度の「	向上のために、	現在の手段	设、方	法等の改善の無	余地がある。	•	ある	0	ない	١		5空3施設、 51施設は			•	ある	0	ない
		4.		の低下がみられ ごスとなってし		[隣自	治体と比較し	ノてニーズを	0	いる	0	いな	:١١	定財産と	≤なっている	ます。 		0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するために	、事業内容	₹が必	ずしも適切とは	まいえない 。	0	いえなし	γ (O	いえ	.る		施設を維持 −人材セン			0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	シネリ化など、)	施策への貢	献度な	が著しく高いと	はいえない。	0	いえない	γ 💿	いえ	.a		を行ってし			0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	る施策の中で類	類似・重複	更した	- 事務事業が存	存在する。	•	する	0	しな	い					•	する	0	しない
HE		4.	事業の継続を	をしても成果の	の向上が期	待て	ごきない 。		0	できなし	ν	でき	る					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗状況	兄が劣って	こいる	と思う。		0	目標に	比べて	劣ってい	いる		ついては、st 業を行って			0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	対して成果がる	あまり上が	うて	いないと思う	; .	0	あまり上	_がって(いない		小平 F2	KZ11 J C	0.4.	0	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目	票を達成し	てし	いると思う。		•	概ね達	成してし	いる						•	概ね達成	してい	3
		4.	目標設定に対	対して十分に	目標を達成	えして	いると思う。		0	十分達	成して	いる						0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	てコストが高い	,۱ _°				0	高い	•	適当	¥		園としての と め、施設で			0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	本のノウハウ	や新たな制	度を	活用できる。		•	できる	0	でき	ない	要があり		ご笠派	りる必	•	できる	0	できない
	率性	3.	予算・人員と	ヒ成果の関係	で、実施手	段等	を見直す余地	也がある。	0	ある	0	ない	١					0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	約方法の変更7	などにより	リコス	く ト削減の余地	しがある。	0	ある	0	ない	١					0	ある	•	ない
						次評					•				_	.次評	•				
	評値	西点	必要性	有効性	達成原	芰	効率性	総合評	価		必要		1	与 効性	達成	度	効率	生	総	合評	価
	<u>수</u> %	を の	3 ○ 拡大·充	<u>│ 3</u> E実 │ ○ 現 [×]	<u></u> 3 狀維持	•	3 方法改善	C ○ 民間委i	千笙		<u>3</u>	大・充	<u> </u> 宝		<u> 3 </u> 伏維持		<u> 3 </u> 方法改善	É		<u>C</u>	千生
Α		句性			外期設定		廃止/休止	O KINST) 縮		Ô		以期設定		廃止/休		<u> </u>	134	
AC						_	設もありますか	・ 整備から在	数が			-	二次		D指摘事I				の相違点	į	
T-0			しており、人口	コ構造、地域ニ 设が多くなってを	一ズ等が変	変化し	しており、当初の 者の実情にそっ	の目的としては	利用	頻 方	カごも	n 小	き	担保を担	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	>-h-	\`帝 <i>正 </i>	比	珊に奴み	ナナ	
N	اع	革案 実行 ·画	施設ごとの現		遊具の安	全を	確保し、適正な	維持管理に努	めま		16-C 1	しひノル也	s āX V J	· ፟ ፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟	JI圧し、ダ [・] 3	⊏ /J` →	、哈丁(44年	.1寸 日	土に方の		0
		員会 i事項																			

	No. 17 —	5 基本事務事	業名交流	通遺児手	当事務	事務事	業名 交通	通遺児手当事	務	公的関与	9 シ	一卜作成日	令和2年	8月13日
	部局名	侹	康福祉	部	課名	子育て支	援課	主務課長	名	小松 隆	シー	-ト作成者名 ネ		
	事業区分	○ 1 ソフト			3 経常的事務事			金•負担金•支		美運営方法	✓ 1 直			≧部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持管	理	6 内部	管理事務・その	D他 事 ^{事 a}	建四刀瓜		-部委託	4 裤	亅
		基本構想(政						実施計画				の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施					<u> </u>	1 該当	平月		<mark>~</mark> 令			設定なし
		主要施策	(1))多様な子	育て支援施策の	推進	0	2 非該当	根	拠法令等 「市	卜交通 遺	児手当支給規則	則	
					る者で、当該年度(を養育する者	か4月1日現	見在におし	いて交通遺児(2	父または母	が交通事故によ	り死亡し	た18歳未満の	者)の保	護者であり、
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的	手当を支	給し、児童の健全	な育成の助	し 長と福祉	上の増進を図り	ます。					
PL		たいのか)	今年度											
AN				— .	ゝますか。(主なも									
N		<u> </u>			から申請を受け、引		(毎年10,	月)します。						
	事業の		給額は児	記童1人につ	つき年額1万円です	0								
	活動内容	3												
		4												
		5		1										
		指標名	<u> </u>	計算式又	くは指標設定理由	単位		平成 30	年度	令和 元 年		令和 2 4	年度	最終目標
	数値目標	受給児童数					目標		4		4			
	(事業の目的			1			実績		4					
	及び活動内 容の達成度						目標 実績							
	を測る指標)						目標							
							実績							
	予算費目	会 計		一般	会計	款	3 民	生費	項	3 児童福祉	費	目 1 !	見童福祉	止総務費
	77.74		<u> </u>	Z 成 3		令和	元	年度決算	令和		天		備考	
		国庫支出	金	·	千円			千円			千円			
		県 支 出	金		千円			千円			千円			
	直接事業費	地 方	債		千円			千円			千円			
D	但按爭未負	その他特定則	け 源		千円			千円			千円			
0		一般財	源		40 千円			千円			千円			
		計(A)			40 千円			0 千円			0 千円			
		正職員工数·紀		.500 人	2,903 千円		人	0 千円		人	0 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託聯												
		臨時·嘱託工数·	経費	人	0 千円		人	0 千円		人	0 千円			
	■ 全体事業	業費(A+B)			2.943 千円			0 千円			0 千円			

					チェ	ック項目					_	·次評f	西		_	-次評価(の説	明		二次	評価	<u> </u>
		1.						が確保できる等 ジ響は大きくな		0	少ない	• •	大き	٤L١				業は,阿 で必要で	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政料	犬況の	中、次年	度以降実	€施す	「る緊急性が認	ぬられない。	0	ない	•	ある	1	す。				0	ない	•	ある
	性	3.	住民満足度の	向上の	ために、	現在の手段	设、方	法等の改善の余	戻地がある。	0	ある	•	ない	١					0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサーロ				「隣自	治体と比較し	,てニーズを	0	いる	0	いな	il V					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現す	るために	、事業内容	学が必	ずしも適切とは	はいえない。	0	いえな	ربا ©	いえ	.る	交通遺児 対象数は				0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ンネリイ	比など、旅	施策への貢	献度	が著しく高いと	まいえない。	•	いえな	い 〇	いえ	.3	度です。		73 ()	ניווי סינעג ר	•	いえない	0	いえる
C	効性	3.	市が実施する	る施策	の中で類	類似・重複	夏した	- 事務事業が存	在する。	0	する	•	しな	١J					0	する	•	しない
HE		4.	事業の継続る	をして	も成果の	向上が期	月待て	ごきない。		0	できな	ι	でき	·る					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して	進捗状況	記が劣って	こいる	らと思う。		0	目標に	比べて貧	劣ってし	いる	目標設定 事業です		ふされ	っしくない	0	目標に比	べて劣	らっている
	達	2.	目標設定に対	対して	成果があ	ちまり上か	うて	こいないと思う	j _o	0	あまり」	上がってし	いない		サホしり	0			0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して	概ね目標	票を達成し	てし	いると思う。		0	概ね達	成してに	いる						•	概ね達成	してい	る
		4.	目標設定に対	対して	十分に目	標を達成	えして	こいると思う。		0	十分達	成してい	いる						0	十分達成	してし	る
		1.	効果に比べて	てコス	トが高い	١,				0	高い	0	適当		件数は少 主体のノ				0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	本のノ	ウハウギ	新たな制	度を	た活用できる。		•	できる	0	でき	ない	はありま		/Ц/П		•	できる	0	できない
	坐性	3.	予算・人員の	と成果	の関係で	:、実施手	段等	手を見直す余地	がある。	0	ある	•	ない	١					0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	的方法	の変更な	こどにより	リコス	スト削減の余地	がある。	0	ある	•	ない	١					0	ある	•	ない
							次評	• •							•		次評					
	評値	西点	必要性	有	効性	達成原	芰	効率性	総合評	[価		必要	性	1	対性	達成	芰	効率	生	総	合評	価
	△ %	を の	4 ○ 拡大·充	宝宝	3 ● 現状	<u>3</u> :維持	0	<u> 3 </u> 方法改善	A ○ 民間委	千笙	(<u>4</u>)拡:	大・充	宝	3 ③ 現状	<u>3</u> は維持	\Box	<u>3</u> 方法改善	É		A 『季』	千生
		句性	○ 縮小		統合/終			廃止/休止	O KINGI	——————————————————————————————————————				$\widehat{\Box}$	統合/終		<u> </u>	<u> </u>			1341	10 47
A			O 1/11 1	<u> </u>	170 117 117	7711272		<i>30</i> — 11—				<u> </u>	-		評価での					の相違点	į	
ACT-0			支給金額も少 る必要があり			〉数ですが	、福	祉サービスの一	-環として事業	を実力		z '洛 '忠			給付事業							
N	اع	革案 実行 ·画	広報や阿波で	 市ホー.	ムページ	での周知の	のほぇ	か、学校等に依	頼し周知を行	います		、	ι . (- Χ.	<i>פ</i> אני	他们 尹未	は必安は	少 未	C00ツ、51	で称る	こ天心しる	、 ソ。	
		員会 事項																				

	No. 17 —	6 基本事務事	業名 家庭	医児童相談	经 室設置運営事業	事務事第	業名 家	<u> </u>	置運営事	事務 公的関与			令和2年	8月11日
	部局名	優	康福祉	部	課名	子育て支	援課	主務課長名		小松 隆		ート作成者名	今	井博美
	事業区分	○ 1 ソフト?		0	3 経常的事務事	業	5 補助	金·負担金·支	援	業運営方法	<u> </u>		3	全部委託
	争未应力	○ 2 ハード	事業		4 施設の維持管	理	6 内部	管理事務・その)他	未连占力法	_ 2 -	一部委託	4 補	助等
		基本構想(政						実施計画				業の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施	(2))子育て支	援の充実		C)1 該当	平	成 17 <u>年</u>	~	6和 年	期間	設定なし
		主要施策	(6)	要保護児	皇童等への対応の	推進	<u> </u>)2 非該当	村	艮拠法令等	児童福祉	业法、児童虐待の	の防止等	に関する法律
		対象(誰を、 何を)	児童を養	育している	る家庭(主に、要保証	雙児童等及	及びその	家庭)						
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的		を防止し児童の権利 庭児童福祉の増進			、安心・安全な子	一育て環境	きゅう かんぱん かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい	すとともに	こ、家庭における	る適切なり	見童の養育、
PL		たいのか)	今年度											
AN				舌動を行し	ゝますか。(主なも	の5つま	で)							
N		① 相談の受												
	事業の	② 対象児童		<u> </u>										
	活動内容	③ 支援の実	施											
		4												
		⑤	7	三ケナマ	7.4.比無乳中田市	出上		₩ 00	左由	△ 1⊓ −	左由	△ 1□ 0	左岳	目幼口描
		指標名	<u> </u>		は指標設定理由	単位	目標	平成 30	平 及	令和 元	平及	令和 2	平及	最終目標
	数値目標 (事業の目的	相談ケースの件数	女	相談業務かるため	の実施状況が分	件(延 べ)	実績		5005		5631			
	及び活動内						目標					<u> </u>		
	容の達成度 を測る指標)						実績							
	C (A) (D) (A)						目標					+		
	予算費目	会 計		 一般	스타	款	実績 3 民	<u> </u> 上 弗	項	3 児童福福	业弗	目 1	旧亲妇为	业総務費
	了开具口	五 司	<u> </u>	成 3		令和	元	工貝 年度決算	令和		_{正貝} 度予算	<u> </u>	備考	工业公分 貝
		国庫支出		19% 0	千及 <u>八</u> 年 千円	la 4.H	76	千尺八升	li J.H	<u> </u>	/文 	1	畑つ	
		県支出	金		千円			千円			<u> </u>			
		地 方	債		千円			千円			千円			
D	直接事業費	その他特定則			千円			千円			千円			
0		一般財	源		101 千円			115 千円			142 千円	J		
		計(A)			101 千円			115 千円			<mark>142</mark> 千円	ı]		
		正職員工数·		200 人	1,161 千円	0.200	人	1,208 千円	0.200	,	<mark>224</mark> 千円	<u>ı</u>		
	人件費(B)	臨時·嘱託職		家庭	E相談員		家庭相	談員		家庭相談員				
		臨時·嘱託工数·	経費 1.	500 人	2,700 千円	1.500	人	2,970 千円	1.500	,	<mark>000</mark> 千円			
	全体事	業費(A+B)			3.962 千円			4,293 千円		4.	<mark>365</mark> 千円	4 I		

					ェック項目					_	次評価	5		_	-次評価の	り説り	月		二次	評価	i i
		1.					が確保できる等 ジ響は大きくな		0	少ない	• •	大きい	あ あ	り、設置	のために 量が法で義			0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政が	状況の中、次	年度以降実	ぼ施す	トる緊急性が認	忍められない。		ない	•	ある	7	います。	o			0	ない	•	ある
	性	3.	住民満足度の応	与上のために、	現在の手段	设、方	法等の改善の	余地がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサーヒ			[隣自	目治体と比較し	ンてニーズを 	0	いる	•	いない						0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を写	実現するために	こ、事業内容	₹が必	がずしも適切とに	まいえない 。	0	いえな	ı، 💿	いえる			する全般 なっていし			0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	/ネリ化など、	施策への貢	献度な	が著しく高いと	はいえない。	0	いえな	い 💿	いえる	"	J±1.		0.7	0	0	いえない	•	いえる
C	効 性	3.	市が実施する	施策の中で	類似・重複	更した	- 事務事業が存	存在する。	0	する	•	しない						0	する	•	しない
CHECK		4.	事業の継続を	しても成果	の向上が期	得て	ごきない。		0	できな	n o	できる						0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	けして進捗状	況が劣って	いる	ると思う。		0	目標に	比べて多	片っている	相	談には	必ず対応	してし	います。	0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	して成果が	あまり上か	うて	こいないと思う	5 。	0	あまり」	こがってし	いない						0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	けして概ね目	標を達成し	てし	いると思う。		0	概ね達	成してに	いる						0	概ね達成	してい	3
		4.	目標設定に対	付して十分に	目標を達成	えして	こいると思う。		•	十分遺	成してい	いる						•	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	コストが高	い。				0	高い	0	適当	1 1 1 1	 談ケー -	スの数は	増えて	こいま	0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	のノウハウ	や新たな制	度を	と活用できる。		0	できる	•	できない		0				0	できる	•	できない
	性	3.	予算・人員と	成果の関係	で、実施手	段等	手を見直す余 地	也がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	方法の変更	などにより	リコス	スト削減の余地	也がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
					_	次評	•								=	次評					
	評化	西点	必要性	有効性	達成原	芰	効率性	総合計	平価		必要	性			達成原	支	効率性	生	総	合評	-価
	全征	を の	4 ○ 拡大·充	<u>4</u> :宝 ⑥ 現	_ 4_ 状維持	0	<u> 4 </u> 方法改善	A ○ 民間委	千笙	(<u>4</u>)拡	<u>_</u> 大•充集		<u>4 </u>	4 :維持	0	<u>4</u> 方法改割	É		A 『季』	千生
Λ		句性			<u> </u>		廃止/休止	O DOING						在合/終			<u> </u>		<u> </u>	13 2 1	
C												Ξ			指摘事項				の相違点	į	
ACT-0	当課	面の !題	相談ケースもに設置する必	増加しており、 要性がありま	、内容も複雑 ∵す。	生にた	ぱっています。 タ	発達に関する村	目談は	JF					な児童や ます。 今後						
N	وع	革案 実行 ·画	社会福祉課や関とも情報共	・健康推進課。 有し、相談に	との連携の 的確に対応	強化 [:] する。	を図りつつ、児 ように努めます	.童相談所など - 。	の関						5 7 0 7 E	×1~03		×1 1/1√1);	*(NCÆ)	,a C. 41.	、
		員会 事項																			

	No. 17 —	7 基本事務事	業名 児童	童扶養手当	当給付金事業	事系	务事業名	児童扶	養手当給	计事系	努	公的関与 1	シート	作成日	令和2年	8月13日
	部局名	侹	康福祉	部	課名	子育	て支援誤	-	主務課長	名	/]	松 隆	シート作	F成者名		本亜紀
	事業区分	○ 1 ソフト			3 経常的事務		_		負担金・支		車業涯	'	1 直営			è部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持	管理	〇 6 Þ		事務・その	の他	事 未任		2 一部		4 ¥	甫助等
		基本構想(政							E施計画					開始∙終了		
	総合計画	基本計画(施						① 1]			平成	年 ~	令和	年	期間	別定なし
		主要施策	(1)	多様な子	·育て支援施策	の推進	i	O 2	非該当		根拠》	去令等				
		対象(誰を、 何を)	父母の劑	婚などで、	父または母と生	生計を同	じくしてい	ない児童	を監護・養	を育して	いる方だ	が対象です。				
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的	児童扶養	手当法に基づい	ハた認定	、支給事務	答を行い	ます。							
PL		たいのか)			を未然に防ぐた			たは受約	合中の者の)実態記	凋査を行	います。				
AN					ゝますか。(主な											
N					を受け、これをう											
	事業の)			問調査(実態調			風知及び	手当証書を	を発行し	<u>、ます。</u>					
	活動内容)			1理をし、手当証											
)			こ、法定支払期											
					台帳・指導記録							^1 -		A T	<i>h</i>	
		指標名	<u> </u>		は指標設定理				平成 30	牛皮		令和 元 年度		令和 2	年度	最終目標
	数値目標			指標になり	じまないために	設		標 !績								
	(事業の目的 及び活動内			EUS E/	<u>U</u>			: _限 標標								
	容の達成度							惊 !績								
	を測る指標)							標								
								!績								
	予算費目	会 計		一般	会計			民生費			項 3	児童福祉費		目 1	児童福祉	业総務費
			平	·成 30	0 年度決	算 令	-		F度決算	令和	印	2 年度予	算		備考	
		国庫支出	金		44,989 =	千円		47	,569 千円			46,740	千円			
			金		=	千円			千円			=	千円			
	直接事業費	地 方	債			千円			千円				千円			
D	但该于木具	その他特定則			120 -				120 千円			287 -				
0		一般財	源		90,254 -				,211 千円			93,193				
		計(A)			135,363				<mark>,900</mark> 千円			140,220				
		正職員工数·網		.800 人	4,744	千円 0.8	800 人	4	<mark>,644</mark> 千円	0.8	00 人	4,830	千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職		, 1	0	- m	-		0				- m			
		臨時·嘱託工数· 業費(A+B)	社 質	人	0 = 140,107 =		人	1.40	0 千円 544 千円		人	0 = 145,050 =				
	土冲争	木貝(ATD)			140,107	一门		143	,J44 十円			140,000	一门			

						ック項目					一岁	マ評価			-次評価⊄	* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *		二次	評価	Ī
		1.						確保できる等 響は大きくな		0	少ない	⊙ ≠	てきい	児童の健	全な育成	∃活の安定と 等のためには	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政制	犬況の「	中、次年	度以降実	施す	る緊急性が認	!められない。	0	ない	● ð	i3	必要です	0		0	ない	•	ある
	女性	3.	住民満足度の「	句上のか	こめに、耳	現在の手段	と、方	法等の改善の糸	≷地がある。	0	ある	● t _c	いしょ				0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサーヒ				隣自	治体と比較し	.てニーズを	0	いる	● ι	ない				0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を調	実現する	るために、	事業内容	が必	ずしも適切とは	はいえない。	0	いえない	Ο ι	える	施策の目な事業で		ために、有効	0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	/ネリ化	たなど、施	策への貢	献度が	ぎょく高いと	はいえない。	0	いえない	Ο ι	える	ゆず木く	7 0		0	いえない	•	いえる
CH	性	3.	市が実施する	を施策(の中で類	似・重複	した	事務事業が存	在する。	0	する	O L	ない				0	する	•	しない
E		4.	事業の継続を	きして:	も成果の	向上が期	待で	きない。		0	できない	⊙ 7	:eる				0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	すしてi	進捗状況	!が劣って	いる	と思う。		0	目標に比	べて劣って	ている	概ね達成	できている	きす。	0	目標に比	べて劣	っている
	達成	2.	目標設定に対	付して月	ず果があ	まり上が	うて	いないと思う	0	0	あまり上が	がっていな	い				0	あまり上が	ってい	ない
	成 度	3.	目標設定に対	すしてホ	既ね目標	を達成し	てい	ると思う。		0 :	概ね達成	えしている					0	概ね達成	してい	3
		4.	目標設定に対	すして-	十分に目	標を達成	して	いると思う。		•	十分達瓦						•	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	ニコス	トが高い	۰,				0	高い	O i	鱼当	効率よくで	できていま	す。	0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	\$ のノヮ	ウハウや	新たな制	度を	·活用できる。		0	できる	O 7	きない				0	できる	•	できない
	坐性	3.	予算・人員と	:成果(の関係で	、実施手	段等	を見直す余地	゚゚ゕ゙ある。	0	ある	○ to	î۱۱				0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	为方法(の変更な	どにより	コス	ト削減の余地	!がある。	0	ある	● t _c	il)				0	ある	•	ない
							次評	•• •								次評価				
	評值	五点	必要性	有	効性	達成原	支	効率性	総合評	価		必要性	7	有効性	達成原		生	総	合評	·価
	△ %	後の	4 ○ 拡大·充	<u> </u> 	<u>4</u> ◉ 現状	4 ·維培	$\overline{}$	4 方法改善	A ○ 民間委記	1笙	0	<u> 4 </u> 拡大∙	<u></u>	4 ┃ ● 現状		 4 〇 方法改	ŧ		A]委i	4 生
		対性	○ 縮小		流合/終			廃止/休止	〇 民间安日	<u> </u>	ŏ			統合/終		○ 房止/休		O KIF	J X II	L 1
A	,,,		C aller	<u> </u>	<u>ж</u> ш / т<	741HX /C		DL III PI			Ĭ	UID . 3				及び一次評		の相違点	į	
TIO	当可課	題	不正受給を発 ります。	生させ	ないよう	に認定・オ	を給に	ニ際して、十分プ	な調査を行う必	要がる						育成のために				新規申
N	と身 計	€行 画	新規請求者及 めには、書類 す。	ひ受終 審査・記	^{合者の生} 訪問調査	活の事実 の充実を	関係 [:] 図り、	等を把握する』 不正受給を発	必要があります 生させないよ ^っ	っその うにしま)た ま	皆や受給	者の生	注活実態の	把握に努	め、適正な事	業を行	います。		
		€会 事項																		

	No. 17 —				等運営事業	事務事	事業名	呆育料事務			公的関与 1	シート作成日 令和2年	-8月13日
	部局名	侹	康福祉	:部	課名	子育て	支援課	主務課	長名	i /	小松 隆 :	シート作成者名 長	谷川早苗
	事業区分	○ 1 ソフト?		0	3 経常的事務	事業 () 5補,	助金·負担金	・支持	爱 _{車 类 2}	運営方法 2	直営 3 🖆	全部委託
	争未应力	○ 2 ハード	事業		4 施設の維持	管理() 6 内i	部管理事務・	その	他	里呂刀法 2	□ 4 神	補助等
		基本構想(政	(策) 1.	やさしく健	やかな阿波			実施計	画		事	業の開始・終了	
	総合計画	基本計画(施	策)(2))子育て支	援の充実			● 1 該当		平成	年 ~	令和 年 期間	間設定なし
		主要施策	(1))多様な子	·育て支援施策	の推進		○ 2 非該当		根拠	法令等 児童福	a 社法	
		対象(誰を、 何を)	阿波市式	立認定こど:	も園・保育所へみ	、所してい	る児童の	扶養義務者又	は、	入所していた	児童の扶養義務	者です。	
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	現年度未	済額•過年度未	済額を減ら	らし、不能	:欠損を減らし [.]	ていく	ことです。			
PL		たいのか)	今年度	児童扶養	義務者への声か	いけを行い	、現年度	未納者を出さ	ないよ	うにし、滞糸	対額を減らします 。		
A					ヽますか。(主な	もの5つ	まで)						
N		① 保育料の			D送付								
	事業の	② 毎月の口											
	活動内容	③ 現年度、	過年度滞	納者への行	敳収事務								
		4											
		5											
		指標名	<u> </u>	計算式又	なお指標設定理	由単位		平成	_		令和 元 年度	令和 2 年度	最終目標
	数値目標	認定こども園保育	料(現年	現年度調	定額	円	目相			343,000	43,700,0		
	(事業の目的	度)		90 1 /X #/5	ж		実統			671,450	32,504,3		
	及び活動内	保育所保育料(現	!年度)	現年度調	定額	一円	目標			207,000	54,000,0		<u> </u>
	容の達成度 を測る指標)			90 T X 11/5	~ ux	''	実統			324,670	44,099,4		
		保育料(過年度)		過年度調	定額	一一円	目標			102,000	105,0		<u> </u>
	7 你 # □	A =11					実統			481,300	153,5		T Net
	予算費目	会 計	— I —	一般				東用料及び手			使用料	目 3 民生使	用料
				² 成 3			元			令和	2 年度予算		
		国庫支出				-円			千円			·円 印刷製本費:204,215 ·円 手数料:66,528円	H
		県 支 出	金			円			千円				
	直接事業費	地 方 その他特定則	債			· 円			千円			· ····································	
DO						· 円			千円			· H	
		<u>一般財</u> 計(A)	源			-円 -円			千円			· <u>⊞</u> ·⊞	
		正職員工数:	奴弗 1	.000 人	5,805 1		0 1	6,038		1.000 人	6,118		
	人件費(B)	臨時·嘱託聯		.000 人	J,003 T	1.00		0,030		1.000 人	0,110		
		臨時·嘱託工数·		人	0 1	<u>-</u> ш	人	0	壬田	人	0 =	. п	
		二二 (A + R)	小工具	八	6 142 =			6 158			6.389 =		

				チ	エック項目					_	次評值	西		_	-次評価(の説り	明		二次	:評個	Б
		1.					が確保できる等 影響は大きくな		0	少ない	•) 大き	٤٢١)算定には 報が必要			0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政物	犬況の中、次	(年度以降	実施す	する緊急性が認	思められない。	0	ない	•	ある)		り事業を到			0	ない	•	ある
	女性	3.	住民満足度の	向上のために	、現在の手	段、カ	方法等の改善の発	余地がある。	•	ある	0	ない	١	かめりま は国基準	9。また、 『保育料よ	門返り金額	市保育料 額が低く	•	ある	0	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサート			近隣目	自治体と比較し	ノてニーズを	0	いる	•	いな	ili		ており、技 tを図って			0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するため	に、事業内	容が必	必ずしも適切とロ	はいえない。	0	いえなし	γ (O	いえ	.る		ができな こども園・			0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ンネリ化など、	施策への	貢献度:	が著しく高いと	はいえない。	0	いえない	n 💿	いえ	.る	袋にて徴	収している	るため)、児童	0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	る施策の中で	類似・重	複し <i>†</i>	と事務事業が存	存在する。	0	する	•	しな	۱):		テに納付す]上につな			0	する	•	しない
HE		4.	事業の継続る	をしても成果	の向上が	期待で	できない。		0	できなし	ν Θ	でき	·ි්	す。				0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗状	況が劣っ	ている	ると思う。		0	目標に	比べて会	劣ってし	いる		年度分は			0	目標に比	べて針	うっている
	達	2.	目標設定に対	対して成果が	あまり上	がって	ていないと思う	5 。	0	あまり上	がってし	いない			ため向上			0	あまり上か	ってし	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目	標を達成	してに	ハると思う。		•	概ね達	成してに	いる						•	概ね達成	してい	る
		4.	目標設定に対	対して十分に	目標を達	成して	ていると思う。		0	十分達	成して	いる						0	十分達成	してし	る
		1.	効果に比べて	てコストが高	ับง _。				0	高い	0	適当	当		「定はシス 。市税情報			0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	本のノウハウ	や新たな	制度る	を活用できる。		•	できる	0	でき	ない	により処:	理すること	で、	少数の人	•	できる	0	できない
	率性	3.	予算・人員と	ヒ成果の関係	で、実施	手段等	等を見直す余地	也がある。	0	ある	•	ない	١	員で業務 ます。	を実施す	ること	かでき	0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	約方法の変更	などによ	りコス	スト削減の余地	也がある。	0	ある	•	ない	١					0	ある	•	ない
				_		−次評					•					次評	•				
	評値	西点	必要性 3	有効性	達成		効率性	総合評	価		<u>必要</u> 3		1	<mark>与効性</mark> 4	達成	度	効率性	生	総	合評	产価
	今後	を の		•	3 見状維持	To	<u>」 3</u> 方法改善	A ○ 民間委詞	托等			大•充	 :実		<u> 3 </u> 战維持	Г	<u> 3 </u> 方法改善	Ė		A 『委』	 託等
A		句性	○ 縮小		終期設定				_)縮		Ô	統合/終		_	廃止/休				
C													二次	評価での)指摘事项	頁及(ゾー次評	価と	の相違点	į	
Ţ		面の 題	収納率が下た	がらないように	する必要	があり	ます。														
0										保	音料(の収約	丸につ	いて、的研	確な徴収す	を行い	円滑な運	堂∙徨	5理に努ん	かまっ	۲ <u>.</u>
N		草案 官行	適正な滞納管	管理に努めま [.]	す。						*13.11	, per			E 0.15% 1840	_ 13 -	7777 0-22		1·11·200		Ü
		·画			•																
		員会 事項																			

	No. 17 —	9 基本事務事	業名 認足	定こども園]等運営事業	事務事	業名 多	子世帯保育料	軽減事業	公的関	与 3	シート作成日	令和2年	8月13日
	部局名	優	建康福祉	部	課名	子育て支	援課	主務課長	名	小松 隧		/一ト作成者名	長名	苗早川名
	事業区分	1 ソフト			3 経常的事務	事業 ●	5 補助	金•負担金•支	援	業運営方法	± 🗸 1		□ 3 全	部委託
	争未应力	0 2 N-F			4 施設の維持領	管理 〇	6 内部	管理事務・その	か他 ^{争:}	未理呂刀だ	2	一部委託	4 福	亅
		基本構想(政						実施計画				業の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施	(2))子育て支	援の充実		•	1 該当	平	成	年 ~ ⁴	令和 年	期間	設定なし
		主要施策	(1)	多様な子	一育て支援施策の	の推進	С)2 非該当	根	拠法令等				
		対象(誰を、 何を)	多子世帯	持(18歳未) -	満の児童が3人以	上いる世帯	5)の第3-	子以降の児童の	保護者の	方が対象で	す。			
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的	子育て家	庭の経済的負担	を軽減し、多	安心して₹	子どもを生み育で	てられる環	境作りを推	進します。			
PL		たいのか)			の児童を養育すん			負担軽減を図りま	きす。					
AN					ヽますか。(主な:									
N		0	(18歳未)	満の児童が	が3人以上いる世	帯)の第3子	-以降の児	見童の保育料を:	免除します	0				
	事業の	2												
	活動内容	3												
		4												
		⑤ 指標 ²	b	三上ケーナィ	7.14比描記中田			π ι οο	左连	△和	一 左 岳	△ 1□ 0	左连	日幼口梅
		扫信		計昇スク	ては指標設定理的	自 単位	目標	平成 30	平及 225	サ和	元 年度 22	令和 2	<u>年及</u>	最終目標
	数値目標	出生者数		出生者数	Ţ	人	実績		186		14		223	
	(事業の目的 及び活動内						目標		100		17	0		
	容の達成度						実績							
	を測る指標)						目標							
							実績							
	予算費目	会 計		一般	会計	款		支出金	項	2 県補	功金	3	民生費県	具補助金
			平	7成 3	0 年度決算	令和	元	年度決算	令和	2	年度予算		備考	
		国庫支出	金		千	"		千円			千円	7		
		県 支 出	金		9,322 ∓।	円		8,784 千円			2,860 千円	ग		
	直接事業費	地 方	債		千	円		千円			千円	円		
D	但按学术貝	その他特定則			千	円		千円			千円	円		
0		一 般 財	源		千			千円			千円			
		計(A)			9,322 千日			8,784 千円			2,860 千円			
	I (1) = + (=)	正職員工数:		200 人	1,161 千I	円 0.200	人	1,208 千円	0.200	人	<mark>1,224</mark> 千円	"		
	人件費(B)	臨時·嘱託耶												
		臨時·嘱託工数·	·経費	人	0 +1		人	0 千円		人	0 ↑ P			
	■ 全体事	業費(A+B)			10,483 千日	4		9,992 千円			4.084 千円	円 		

				チ	ェック項目					_	次評価	西		_	-次評価(の説り	明		二次	(評価	ī
		1.					、確保できる等 ジ響は大きくな		0	少ない	•	大きし	い		の経済的 要な事業			0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政料	伏況の中、次	年度以降実	施す	「る緊急性が認	思められない。	0	ない	•	ある						0	ない	•	ある
	女性	3.	住民満足度の	向上のために、	現在の手段	〉、方	法等の改善の発	余地がある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
		4.		の低下がみら ビスとなって		隣自	治体と比較し	ノてニーズを	0	いる	•	いなし	۱,					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するために	こ、事業内容	が必	ずしも適切とロ	まいえない 。	0	いえな	n o	いえる	3	保育料が	無料化さ 負担軽減			0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ンネリ化など、	施策への貢	献度な	が著しく高いと	はいえない。	0	いえな	n 💿	いえる	3	高いです		,00	Μ ΙΤΙΟ	0	いえない	•	いえる
C	効 性	3.	市が実施する	る施策の中で	類似・重複	した	事務事業が存	存在する。	0	する	•	しなし	,١					0	する	•	しない
HE		4.	事業の継続る	をしても成果	の向上が期	待で	ごきない 。		0	できな	n o	できる	3					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗状	況が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて貧	劣ってい	る	出生者数めの一因				0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	対して成果が	あまり上が	うて	いないと思う	; .	0	あまり」	こがってし	いない			く必要があ			0	あまり上か	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目	標を達成し	てじ	いると思う。		0	概ね達	成してに	いる						•	概ね達成	してい	る
		4.	目標設定に対	対して十分に	目標を達成	えして	こいると思う。		0	十分達	成して	いる						0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	てコストが高	い。				0	高い	0	適当		県の補助	事業を活			0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	本のノウハウ	や新たな制	度を	活用できる。		0	できる	0	できた	ない	す。	Funcy	E C C	(0.8	0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員の	と成果の関係	で、実施手	段等	手を見直す余 地	也がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	約方法の変更	などにより	コス	く ト削減の余地	也がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
						次評	• •				•					次評	•				
	評値	西点	必要性	有効性	達成原		効率性	総合評	価		必要	性		与 効性	達成	芰	効率	生	総	合評	-価
	全名	を の	4 ○ 拡大·弁	<u> </u>	<u> 2 </u> 状維持		<u> 4 </u>	A ○ 民間委託	千笙	(<u>4</u>)拡:	 大•充:	宔		<u>3</u> ド維持		4 方法改氰	É		<u>A</u> 引委記	 千 生
Λ		句性	○ 縮小		冬期設定		<u> </u>	<u> </u>					Ô	統合/終		_	<u>////////////////////////////////////</u>		0 201		•••
A													二次	評価での		頁及(ゾー次評	価と	の相違点	į	
TIO	当課		本事業の周知があります。	印を図り、経済	的支援を実	施し	、出生者数の坩	曽加に繋げてい	く必	仴				れることに				許的負	担を軽減	し、:	 安心して
N			広報誌、ホー	-ムページ等を	利用し、制度	度の月	周知を行います	•		Ť	-どもを -	生み育	育ては	られる環境	を作りを継	続しま <u></u> -	ぎす。				
		会 事項																			

	No. 17 —	10 基本事務事業	名 放誤	【後健全 】	育成事業	事	事務事業律	名 放談	果後児童クラ		運営事	務 公的関与	2 シ	一ト作成日	令和2年	8月12日
	部局名	健身	長福祉 語		課名		育て支援		主務課			小松 隆		−ト作成者名		本亜紀
	事業区分	○ 1 ソフト事			3 経常的事務				金•負担金•		車業	運営方法	1 直			≌部委託
	争未区力	○ 2 ハード事			4 施設の維持	寺管理	0 6	内部	管理事務・そ		尹木	连舌刀丛		-部委託		亅
		基本構想(政策							実施計画	Ī				の開始・終		
	総合計画	基本計画(施策						O	1 該当		平成		~ 令	·和 年	☑ 期間	設定なし
		主要施策	(1)	多様な子	-育て支援施第	€の推	進	0	2 非該当		根	心法令等				
		対象(誰を、 何を)	護者が	労働等に	より昼間家庭に	こいなし	小学校に	:就学し	ている児童							
	事業の 対象・目的	目的(どうい ^最 う状態にし	是終的	適切な遊	び及び生活の	場を提	供し、児童	の健全	とな育成を図	ります。	0					
PL		たいのか) 4			者が安定した。				します。							
AN		具体的にどのよ														
N		① 各放課後児			里業務及び運営	李託 第	業務に関す	る事剤	务							
	事業の	② 指定管理者														
	活動内容	③ 事業実施に	係る県	との協議、	補助金交付申	請、実	績報告									
		4														
		⑤ 指標名		三ケギャ	7 / 土 北上市 = 几 亡 丁	⊞ ↔ [出人		TI CHE O	0 左目	- -	△和 −	左岳	△和 ○	左岳	日幼口梅
		担保石		可昇スメ	ては指標設定理	里田	単位	目標	平成 3	U #15	支 100	令和 元	<u>平及</u> 100	令和 2	<u>年及</u> 100	最終目標
	数値目標	クラブ設置率		クラブ数/	/小学校区数			口惊 実績			100		100		100	
	(事業の目的 及び活動内							目標			100		100			
	容の達成度							<u> </u>								
	を測る指標)							目標								
								<u> </u>								
	予算費目	会計		一般	会計	<u> </u>		民 2	費		項	3 児童福祉	止費	目 1	児童福祉	止総務費
			平	成 3	0 年度決	算	令和	元	年度決算	[和	2 年	度予算		備考	
		国庫支出金			27,447	千円			33,379 ∓	円		35,	188 千円			
			金		27,447	千円			28,025 千	円		35,	188 千円			
	直接事業費		責			千円			Ŧ	円			千円			
D	正汉于不负	その他特定財活				千円			Ŧ				千円			
0			源		41,245				34,321 ∓				689 千円			
		計(A)	#	500 1	96,139		0.500		95,725 千		F06		065 千円			
		正職員工数·経		500 人	2,965	千円	0.500 人		2,903 千	円 0.	.500 ノ	3,0	<mark>019</mark> 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職科		, 1		- F			0 -				0			
		臨時·嘱託工数·経	質	人	99,104	千円	<u>_</u>		0 1)		0 千円			
	王冲争。	業費(A+B)			99,104	十円			98,628 千	H		120,	084 千円			

					ニック項目						一次	評価		_	-次評価の	の説明	月		二次	評価	б
		1.	市が実施しな主体があり、						施 C	少な	いに	•	大きい	運営を始	が協議をし めました <i>は</i>	が、多	様化す	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	況の中、次年	F度以降実 抗	施する	る緊急性が認	められな	い。	ない	١	•	ある		に対応する が必要で		oには、	0	ない	•	ある
	性		住民満足度の向							ある		0	ない	また、待ち	機児童も増		おり、対	•	ある	0	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサービ			隣自	治体と比較し	<i>、</i> てニーズ	^е С	いる		•	いない	応が急か	「れます。 			0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を実	現するために	、事業内容が	が必っ	ずしも適切とは	はいえない。	С	いえ	ない	•	いえる		とも利用を			0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ネリ化など、カ	施策への貢献	度が	著しく高いと	まいえない 。	С	いえ	ない	•	いえる	す。	7 (10 D) V		60.8	0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	施策の中で舞	頃似・重複し	した	事務事業が存	在する。	С	する		•	しない					0	する	•	しない
KOHHOK		4.	事業の継続を	しても成果の	の向上が期待	诗で	きない。		С) でき	ない	•	できる					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	して進捗状況	兄が劣ってし	ハる	と思う。		0	目標	に比へ	て劣っ	っている		E度から全 記童クラブを			0	目標に比べ	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	して成果があ	あまり上がっ	って	いないと思う	0	0	あま	り上がっ	っていた	ない	定管理者	制度を導	入す	ることに	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	して概ね目標	票を達成して	てい	ると思う。		0	概ね	達成し	ている	3	ーより、運営 た。	営の均等が	が図ら	れまし	•	概ね達成	してい	る
	^	4.	目標設定に対	して十分に目	目標を達成し	して	いると思う。		0	十分	達成し	している	3					0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	コストが高い	,۱۰				С	高し	١	•	適当		年度から、 入し、効 率			0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	のノウハウ	や新たな制度	度を決	活用できる。		•	でき	る	0	できない	ています		≃ונים≃	.圧用し	•	できる	0	できない
	率性	3.	予算・人員と	成果の関係で	で、実施手具	没等:	を見直す余地	がある。	С	ある		•	ない					0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	方法の変更な	などにより:	コス	ト削減の余地	ヹゕ゙゙ゟる。	С	ある		•	ない					0	ある	•	ない
					一次	マ評値	西								Ξ	次評	価				
	評値	三	必要性	有効性	達成度		効率性	総合	許価		业	要性	Ė	有効性	達成原	芰	効率性	生	総	合評	·価
	△ ½	を の	3	4 実	3 	$\frac{1}{0}$	3 方法改善	● 民間	A 禾缸笙		0	<u>3</u> 坎大	<u> </u> ·充実	4 ┃● 現物	3 * 維		<u> 3 </u> 方法改善	É		A 表	千笙
		句性	○ 縮小	○ 統合/終			死以 <u>与</u> 廃止/休止		女			縮小		統合/終			<u> </u>		O KIE	134	<u> </u>
C			_ ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,									пы з		マ評価での					の相違点	į	
ACH-O		面の :題	市内全てのクラに支援していくまた、待機児童	必要がありま	す。					極的				づの安定し	した運営か	「でき	るよう、指	定管	理者と協	議した	ながら事
N	と事 計	革案 実行 画	指定管理者が に努めます。	円滑に運営で	きるよう、何]か問	閉題があれば ⁻	その都度協	議して	解決	務を	推進し	ンます 。								
		員会 i事項																			

	No. 17 —	11 基本事務事業	样名 母子	P家庭等	自立支援事業	IIII.	事務事業	名 母子	P家庭等自立	支援約	計事務	公的関与	5	シート作成日	令和2年	8月12日
	部局名	健儿	康福祉:		課名		育て支援		主務課長		1	\松 隆		/一ト作成者名		本亜紀
	事業区分	● 1 ソフト事			3 経常的事務				金·負担金·		重業 電			直営		≧部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持	寺管理	6	内部	管理事務・そ	の他	事 未足	E古刀仏		一部委託		助等
		基本構想(政策							実施計画					業の開始・終		
	総合計画	基本計画(施策							1 該当		平成	年			☑ 期間	
		主要施策			·育て支援施策			0	2 非該当					援教育訓練給付金		
					有する母子家原 水準にある者で		または父う	子家庭の	の父で児童扶	養手当	法による	5児童扶養	手当のき	受給を受けるこ	と又は当該	手当の支給
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的											到ります。また、 の給付金を支約)母または父
PL		: " · · · · · ·	今年度													
AN		具体的にどの														
N		① 該当者から	給付金	または促む	進費等の申請 を	を受理し	します。									
	事業の	② 給付金また						じて、暑	客査基準となる	る書類の	の提出を	求めます。				
	活動内容	③ 審査結果に					ます。									
		④ 申請者から	請求書	を受け、支	、給事務をしま [・]	す。										
		5		I = 1 ++ 1			W 11 1					A == =				
		指標名		計算式又	(は指標設定理	里由	単位		平成 30)年度		令和 元		令和 2	年度	最終目標
		高等職業訓練促進 給者数	給付金受					目標			2			3	1	
	及び活動内	教育訓練給付金受	公 老粉					目標			1			1	2	
	谷の達成度	双目 訓除相刊 亚文	帕伯奴				^	実績			0			1		
		自立支援プログラム	策定者				人	目標			5			5	5	
		数		10	A = 1			実績	 		2			3		1 W 75 #
	予算費目	会 計		一般		hh-		3 民生		1 1		児童福祉		目 1	児童福祉	止総務實
				.成 3	1 10417 1		令和	元	年度決算	令	和		度予算		備考	
		国庫支出	金		1,840				4,591 千F	_		ა,	309 ∓F			
			債			千円			千F 千F	_			千F 千F			
D	直接事業費	<u>地 カ</u> その他特定財				千円							<u> </u>			
O			源		560				1,631 ↑ F			1	130			
		<u></u> 計(A)	<i>an</i> ,		2,400				6,222 千F	_			<mark>439</mark> ∓F			
		正職員工数:経	費 0.	100 人	593		0.100 人		581 千F		100 人		604 ∓F			
	人件費(B)	臨時·嘱託職					<u> </u>	<u>· </u>								
		臨時·嘱託工数·紹	¥ 書	人	Λ	千円	人		0 千F	_	人		0 ∓F			
		THE 1 1/2/10 30 10			U	1 1 1	<i></i>	`	0 11	,	人		U TE	1		

					こック項目					_	次評価	li l	-	-次評価の	の説明			二次	評価	
		1.		なくても、公 事業を廃止					0	少ない	•	大きい		子就労支持 まは大きい		非常	〇 少	ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政権	犬況の中、次年	丰度以降実	施す	る緊急性が認	見められない。	0	ない	0	ある					なし	L)	•	ある
	性			向上のために、					0	ある	0	ない					<u></u>	3	•	ない
		4.		の低下がみられ ごスとなってし		隣自	治体と比較し	, てニーズを -	0	いる	•	いない					○ w	3	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するために	、事業内容	が必	ずしも適切とは	はいえない。	0	いえなし	γ (O	いえる	施策の目	目的実現の ⁵す	ために、	有効	○ いź	えない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	シネリ化など、)	施策への貢献	伏度か	が著しく高いと	はいえない。	0	いえない	n 💿	いえる	377	- 7 0			() いき	えない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	る施策の中で類	領似・重複	した	:事務事業が存	存在する。	0	する	•	しない					する	3	•	しない
HE		4.	事業の継続る	をしても成果の	の向上が期	待で	きない。		0	できなし	<i>∧</i>	できる					<u></u> で	きない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗状況	兄が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて針	らっている	達成でき	ています。			〇 目标	標に比へ	て劣を	っている
	達	2.	目標設定に対	対して成果がる	あまり上が	って	いないと思う	, ,	0	あまり上	_がってし	ない					○ あま	まり上がっ	っていた	よい
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目	票を達成し	てい	ると思う。		0	概ね達	成してい	る					〇 概	ね達成し	ている	á
		4.	目標設定に対	対して十分に	目標を達成	して	いると思う。		•	十分達	成してに	る					+:	分達成し	っている	3
		1.	効果に比べて	てコストが高い	,۱ _°				0	高い	0	適当	効率よく	できていま	す。		〇 高	l1	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	本のノウハウ	や新たな制	度を	·活用できる。		0	できる	0	できなし	١				<u></u> ලේ	きる	•	できない
	坐性	3.	予算・人員と	ヒ成果の関係	で、実施手	段等	を見直す余地	也がある。	0	ある	•	ない					<u></u>	3	•	ない
		4.	電子化や契約	約方法の変更7	などにより	コス	ト削減の余地	也がある。	0	ある	•	ない					<u></u>	3	•	ない
						欠評									次評価	•				
	評値	西点	必要性	有効性	達成度	Ŧ	効率性	総合評	価		必要	性	有効性	達成原	度 3	効率性	<u> </u>	総1	合評	
	全征	多の	4 ○ 拡大·充	│ 4 ⋶実 │ ⑤ 現	│ 4 伏維持	$\overline{}$	4 方法改善	A ○ 民間委詞	手笙			L 大∙充実	4 	<u>4</u> 犬維持	○ 方》	<u> 4 </u> 法改善) 民間	A 委託	-
Λ		句性	○縮小		期設定		<u>房止/休止</u>	0 2014794)縮/			期設定		<u> </u>	_	7 2014.		'''
AC												=	次評価での		頁及び一	-次評信	面との木	目違点		
T-0	当課	面の	国からの要綱 ます。	岡改正等の動向]をみながら	、事	業を行うととも	こ 周知する必要	更があ		ŀ子·父	子の自ュ	このための	就労支援と	:して必要	要な事業	きであり.	、広く居	別知し	て事業
N	اع	革案 実行 ·画	事業の促進を	を広報誌・阿波	市ホームペ	ージ	等で周知します	 ;		σ)促進に	こ取り組み	みます。							
		員会 事項																		

	No. 17 —	12 基本事務事	業名母子	P家庭等	自立支援事業	事務事	業名児	!童福祉施設入	.所措置	費事務	公的関与 5 シ	ノート作成日	令和2年	8月11日
	部局名	侹	康福祉	-	課名	子育で		主務課長		/]		ート作成者名		井博美
	事業区分	○ 1 ソフト			3 経常的事務			カ金・負担金・ラ		車業涯		直営		全部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持	管理 (6 内部	『管理事務・そ		事 未经		一部委託	4 裤	輔助等
		基本構想(政						実施計画				美の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施			援の充実		(● 1 該当		平成		3和 年		設定なし
		主要施策			皇等への対応			2 非該当			A 13 ()	「波市児童福祉法による助産 <i>0</i>		
				◇要がある ・及び児童	こもかかわらず約	圣済的理由	により入	院助産を受ける	らことがっ	できない	妊産婦、配偶者のし	ハない女子または	まこれに当	準ずる事情の
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的	さまざまな	;事情で困窮して	いる者を支	援するこ	ことにより、次代	を担う児	見童の健	全な育成を図ります	۲.		
PL		たいのか)	今年度											
AN					ゝますか。(主な									
N)			ない妊産婦から									
	事業の	0			i者からの申出、					を実施し	<i>、</i> ます。			
	活動内容)			自立支援計画 <i>0</i>		より現状技	巴握を行います	0					
)			事務処理をしま									
)			促進を行います						A ==			
		指標名	<u> </u>		は指標設定理			平成 3	0 年度	•	令和 元 年度	令和 2	年度	最終目標
	数値目標 (事業の目的	助産の実施数			定するのになじる こ設定しません。		目標実績			0	()		
	容の達成度	母子生活支援施記 ベ世帯数	殳の入所延		定するのになじ <mark>。</mark> こ設定しません。		目標実績			0	()		
	を測る指標)						目標							
							実績	į						
	予算費目	会計		一般		款	7 3 民				児童福祉費	目 7	母子福祉	业費
				成 3	0 年度決算	令和	元	年度決算	- 令和		2 年度予算		備考	
		国庫支出			0 Ŧ			0 1 1			810 千円			
		県 支 出	金		0 =			0 1 1			405 千円	-		
	直接事業費	地方	債			·円		千日	_		千円	-		
DO		その他特定則				·H		千			千円			
U		一般財	源			·H		1 1	_		405 fm			
		計(A)	汉弗 0	100 人	0 ∓ 581 ∓		1	0 1 1		00 I	1,620 千円			
	人件費(B)	正職員工数·組 臨時·嘱託職		100 人	180	円 0.100	人	604 ∓I	円 0.10	00 人	612 千円	4		
	八仟貝(口)	臨時·嘱託工数·		人	0 1	. ш	人	0 ∓I	п	人	0 千円	1		

						ック項目					_	次評値	西		_	-次評価	の説り	明		二次	評価	б
		1.						、確保できる等 と響は大きくな		0	少ない	•	大き	い		Ěはなく、≅ こければな			0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政物	犬況の中	、次年	度以降実	施す	る緊急性が認	恩められない。	0	ない	•	ある						0	ない	•	ある
	性							法等の改善の余		0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサーb				隣自	治体と比較し	ノてニーズを	0	いる	0	いな	い					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現する	ために、	事業内容	『が必	ずしも適切とに	まいえない 。	0	いえな	n o	いえ	3		美はなく、 ければな			0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ノネリ化な	など、施	策への貢	献度な	が著しく高いと	はいえない。	0	いえな	n 💿	いえる	3	C 0 13 12	177016.6	766	.700	0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	る施策の	中で類	[似・重複	した	事務事業が存	存在する。	0	する	•	しない	い					0	する	•	しない
CHECK		4.	事業の継続を	としても	成果の	向上が期	待で	ごきない 。		0	できな	ν <u>Θ</u>	できる	3					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	付して進	捗状況	が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて貧	劣ってい	る		とは設定で 国祉の向上			0	目標に比	べて劣	つている
	達	2.	目標設定に対	付して成	果があ	まり上が	うて	いないと思う	j 。	0	あまり」	こがってし	ハない		元里の作ます。	┱ク╨┖╱╿म]ユ	-1~台	サしてい	$\overline{}$	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対		ね目標	を達成し	てい	いると思う。		0	概ね達	成してに	.\る						0	概ね達成	してい	る
	/2	4.	目標設定に対	対して十	分に目	標を達成	して	いると思う。		<u> </u>	十分達								0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	こコスト	が高い	٠,				0	高い	0	適当	í		定められ			0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	本のノウ	ハウや	新たな制	」度を	活用できる。		0	できる	•	できれ	ない		るので、対 きません。		を米める	0	できる	•	できない
	率件	3.	予算・人員と		関係で	、実施手	段等	を見直す余地	 bがある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	内方法の	変更な	どにより	コス	く ト削減の余地	上がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
							次評	価								_	.次評	価				
	評化	西点	必要性	有效		達成原	吏	効率性	総合評	価		必要	性	7	与効性	達成	度	効率	生	総	合評	価
		を の	4 ○ 拡大·充		↓ ● 現状	4 - 丝# t=		<u> 4 </u> 方法改善	A ○ 民間委記	1生		<u>4</u>)拡:	大・充	生	4 ┃ <mark>●</mark> 現∜	 4 +維特		4 方法改	ŧ		A 表	工 生
		句性			_	期設定		廃止/休止	〇 民间安日	<u> </u>) 縮/			統合/終		_	廃止/休		O KIF	134	<u> </u>
C		- · · · ·										- TIE	-)指摘事				の相違点	į	
ACTIO		面の !題	助産施設が県す。また、母子 的に必要とな	产生活支	徳島市(援施設	に1か所し に入所し [・]	いかな ても、	いため、利用し 母子が自立す	しづらいところぇ 「るための支援	がありが継	続			取り	組み,継続	節な支援	体制	を整え、引	き続	き母子の	自立	支援に努
N	計	€行 ·画	軽減を図ること	で経済的]不安の作	解消につな	ごげて	から、助産制度 いきます。母子生 に向けての体制	生活支援施設は	達費 、母子	mυ	ます。										
		員会 事項																				

	No. 17 —	13 基本事務事業名	あわっ子はぐ	くみ医療費助成事	業 事務事	業名あれ	つっ子はぐくみ	医療費	助成事業	公的関与 9 シ	一卜作成日 令和2年	F8月31日
	部局名	健康	福祉部	課名	子育てま	え 援課	主務課	長名	小			型川 香
	事業区分	○ 1 ソフト事業		3 経常的事務			金·負担金·		事業運	'B' 'E \		全部委託
	争未区力	○ 2 ハード事	•	. 20012 - 1211	管理 🔘	6 内部	管理事務・そ		尹木廷			甫助等
		基本構想(政策)		建やかな阿波			実施計画				の開始・終了	
	総合計画	基本計画(施策)				<u> </u>	1 該当		平成	年 ~ 令		間設定なし
		主要施策	(1)多様な-	子育て支援施策	の推進	0	2 非該当		根拠沿	大令等 あわっ子	はぐくみ医療費の助成に	こ関する条例
		対象(誰を、 何を)		- る0歳以上、満1								
	事業の 対象・目的	目的(どうい 最う状態にし	終的 す。	医療費の一部を	その保護者	に助成す	ることにより、	その疾	病の早期	発見と治療を促進し	、保健の向上と福祉の	増進を図りま
PL		たいのか) 今	年度									
AN		具体的にどのよ										
N		① 保険診療の器										
	事業の	<u> </u>			中学校3年生	修了の子	どもにかかる	自己負担	担金(1レセ	プト600円まで)を登	受給者から徴収せず、市	が負担します。
	活動内容	③ 所得制限を腐	怪止しています。)								
		4										
		5	= 1 //// _ 12 ·					. <i>F</i> d	-	\10 = 6 c	A10	
		指標名		又は指標設定理		D +==	平成 3			令和 元 年度	令和 2 年度 5000	最終目標
	数値目標 (事業の目的	助成対象人数	予算を批 なため	型握するために必	^要 人	目標 実績			5300 5179	5300 5179	5300	
	及び活動内					目標						
	容の達成度 を測る指標)					実績						
	で例の相保)					目標						
	2 M # 5	A =11	1.	!		実績	- - 11 5					+ 1
	予算費目	会 計		· * * * * * * * * * *	款			. 1 .		保健衛生費	目 3 子ども図	医療助成質
				30 年度決算		兀	年度決算	_	î和 2	2 年度予算	備考	
		国庫支出金			·H		千 CO 072 =	_		千円		
		県 支 出 金 地 方 債			·用		60,273 千	_		69,000 千円		
D	直接事業費	<u>地 方 債</u> その他特定財源	-		·円 ·円		<u></u>	_		<u>千円</u> 千円		
0		一般 財源		 112,677			 110,697 千			111,476 千円		
		計(A)		174,914 1			170,970 千	_		180,476 千円		
		正職員工数·経費	1,000 人	5,805		人	0 千		人	0 千円		
	人件費(B)	臨時·嘱託職種		3,000		/\				- 111		
		臨時·嘱託工数·経費		0 T	·Ħ	人	0 ∓	T)	人	0 千円		
		業費(A+B)		180,719 T		7 7	170,970 千			180,476 千円		

					チェ	ック項目					_	-次評	西		_	-次評価(の説	明		二次	評価	li .
		1.						、確保できる等 と響は大きくな		0	少なし	, ©)大き	きい	減、子ど	:庭の経済 もの健康作	き理と	健全な	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政	犬況の	中、次年	度以降実	施す	る緊急性が認	ぬられない。	0	ない	•	ある)	育成に寄	与するた	め、こ	の事業	0	ない	•	ある
	性	3.	住民満足度の	向上の	ために、3	現在の手段	〕、方	法等の改善の急	余地がある。	0	ある	•	ない	١	は必安し	9 0			0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの上回るサート				[隣自	治体と比較し	,てニーズを	0	いる	•	いな	ίlγ					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現す	るために、	、事業内容	『が必	ずしも適切とは	はいえない。	0	いえな	い (いえ	る		庭の経済、子育てし			0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	ンネリイ	上など、施	節策への 貢	献度な	が著しく高いと	はいえない。	0	いえな	い 💿	いえ	.a		は有効で		ت بهجار د	0	いえない	•	いえる
C	性	3.	市が実施する	る施策	の中で類	似・重複	した	事務事業が存	在する。	0	する	•	しな	ı۱۱					0	する	•	しない
HE		4.	事業の継続	をして	も成果の	向上が期	待で	きない。		0	できな	い) でき	る					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して	進捗状況	が劣って	いる	と思う。		0	目標は	比べて	劣ってし	いる		ように助用設定は難			0	目標に比	べてま	っている
	達	2.	目標設定に対	対して	成果があ	まり上か	うて	いないと思う	j °	0	あまり.	上がって	いない		₩ 八、口 1 示	以近16乗		. 9 o	0	あまり上か	ってし	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して	概ね目標	を達成し	てい	いると思う。		0	概ね遺	を成して	いる						0	概ね達成	してい	る
	,	4.	目標設定に対	対して	十分に目	標を達成	えして	いると思う。		•	十分道	達成して	いる						•	十分達成	してし	る
		1.	効果に比べて	てコス	トが高い	١,				0	高い	•	適当	当		Eの自動更 、事務の対			0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主	本のノ	ウハウヤ	新たな制	痩を	活用できる。		0	できる	•	でき	ない	ています		Л — 11.	14 M J	0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員の	と成果	の関係で	、実施手	段等	を見直す余地	がある。	0	ある	•	ない	١					0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	約方法	の変更な	どにより	コス	ト削減の余地	がある。	0	ある	•	ない	١					0	ある	•	ない
							次評	•								=	次評	•				
	評値	西点	必要性	有	効性	達成原	吏	効率性	総合評	価		必要	· · —	1	与効性	達成	芰	効率	生	総	合評	<u>·</u> 価
	<u>수</u> %	を の	4 ○ 拡大・対	宝	4 ● 現状	4 ∂維持		4 方法改善	A ○ 民間委詞	千笙	(大・充	<u> </u> 宝		<u> 4.</u> 比維持		<u>4</u> 方法改善	Ė		A 【委】	千生
Λ		句性	○ 縮小		統合/終			廃止/休止	O ECINIZA	——————————————————————————————————————	_			Ô	統合/終		_	<u> </u>) 1/1	1341	
A)	10		.,,,,,,,,							-	二次	評価での					の相違点	į	
TIO								子育てしやすい 3ることを検討し		きらに	=				助成するこ	ことにより、	「子	育てしやす	いま	ち」として	、保	建の向上
N			他市の動向に	こついて	て情報を見	収集し、事	業の	充実を図ります	.		ځ	∶福祉の	の増進	を図	ります。							
		員会 i事項																				

	No. 17 —	14 基本事務事	業名 ファ	ミリー・サボ	ペート・センター事業	事務事	業名ファ	ミリー・サポー	ト・セング	中事務	公的関与 5	シート作成日	令和2年	8月11日
	部局名	優	建康福祉	部	課名	子育て支	援課	主務課長	名	小	松隆 シ	ート作成者名		井博美
	事業区分	○ 1 ソフト?			3 経常的事務事			金・負担金・ラ		車業温	'B' F \ +	直営		部委託
	争未应力	○ 2 ハード	, ,,,		4 施設の維持管	理	6 内部	管理事務・そ	の他	尹未廷		一部委託		亅
		基本構想(政	(策) 1.	やさしく健	やかな阿波			実施計画				業の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施						1 該当		平成		令和 <mark>年</mark>		設定なし
		主要施策	(4))職業生活	と家庭生活の両	立の支援	爱 <mark></mark>	2 非該当		根拠	去令等 阿波市ファ	マミリー・サポート・セ:	ノターの設置及	及び事業実施要綱
		対象(誰を、 何を)	育児の扱	爰助を行うこ	ことを希望する者と	育児の援	助を受けん	ることを希望す	る者で	構成する	会員			
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	子育て中	の人や働く人たち	の家庭を地	地域で支持	爰し、安心して [*]	育児が [.]	できる環	境を整備します。			
PL		たいのか)			、特に提供会員(で			増やし、相互技	爰助活重	動の充実	を図ります。			
AN					ゝますか。(主なも									
N		<u> </u>			動労者福祉ネットワ	フークとの	調整事務							
	事業の	② 補助金申	請及び第	E 績報告										
	活動内容	3												
		4												
		5	-] = <i>tre</i> tre		252.71					^1 <u></u>	1 A 7= a	<i></i>	
		指標名	<u> </u>		は指標設定理由	単位		平成 30			令和 元 年度	令和 2		最終目標
	数値目標	会員登録数		依頼会員 会員	•提供会員•両方	人	目標 実績			700 753	700 798		800	
	(事業の目的 及び活動内			五貝			日標			500	1500		1000	
	及び活動内 容の達成度	援助活動数		活動の状	況がわかる	件	実績			134	63		1000	
	を測る指標)						目標		<u>'</u>	134	030	8		
							実績					<u> </u>		
	予算費目	会 計			会計	款		生費		項 3	児童福祉費	目 1	児童福祉	止総務費
			<u> </u>	7成 3	0 年度決算	令和	元	年度決算	令		2 年度予算		備考	
		国庫支出	金		1,453 千円]		1,453 千円	9		1,333 千円	9		
		県 支 出	金		1,453 千円	l		1,453 千円	9		1,333 ∓₽	9		
	直接事業費	地 方	債		千円	1		千円	9		千円	9		
D	但按爭未其	その他特定則	財源		3,682 千円]		3,907 ∓₽	9		4,164 f p	9		
0		一 般 財	源		千円			千円			千円			
		計(A)			6,588 千円			<mark>6,813</mark> 千円			6,830 千P	9		
		正職員工数:		.100 人	581 千円	0.100	人	<mark>604</mark> ∓₽	9 0.1	00 人	612 千円	9		
	人件費(B)	臨時·嘱託聯												
		臨時·嘱託工数·	·経費	人	0 千円		人	0 ∓P		人	0 千P	_		
	■ 全体事	業費(A+B)			7,169 千円			7,417 千円	9		7,442 千円	9 I		

					ェック項目						一次	評価	ī		一次評	価の説	明		二次	評価	Б
		1.					が確保できる等 ジ響は大きくな		実施()少	ない	•	大きい	ニニース		している	ます。この	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政が	状況の中、次	年度以降到	実施す	トる緊急性が認	忍められた	ない。() な	ili	•	ある		ニーズに て、必要な			0	ない	•	ある
	性						法等の改善の) あ	る	•	ない	果とし	(、必安/	が来る	90	0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの上回るサービ			丘隣自	目治体と比較し	ノてニース	ズを ()い	る	•	いない					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を写	実現するため	こ、事業内容	容が必	がずしも適切とに	まいえなし	,v _° (い	えない	•	いえる		支援のし			0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ノネリ化など、	施策への貢	献度	が著しく高いと	はいえない	, v _°) い	えない	•	いえる	137130	.4000	7	, 0	0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	る施策の中で	類似・重複	复した	と事務事業が存	存在する。	, (ੇ ਰ	⁻ る	•	しない					0	する	•	しない
CHECK		4.	事業の継続を	としても成果	の向上が期	期待で	ごきない 。			ੇ で	きない	•	できる					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	付して進捗状	況が劣って	ている	ると思う。)目	標に比	べて劣	っている		き録数は、 います。	当初の	目標を上	0	目標に比	べて劣	つている
	達	2.	目標設定に対	けして成果が	あまり上た	がって	こいないと思う	5 .) b	まり上か	「ってい	ない		いより。			0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	付して概ね目	標を達成し	してし	いると思う。)概	ね達成	してい	 る					0	概ね達成	してい	る
		4.	目標設定に対	付して十分に	目標を達成	戊して	こいると思う。) +	·分達成	してい	る					•	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	コストが高	ر۱ _°					高(ξίι	•	適当		T村で実約 加労者福祉		(公財)徳	0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	*のノウハウ	や新たな制	削度を	を活用できる。) で	きる	•	できなし		ガカ 価値を表記して			0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	☆成果の関係	で、実施	手段等	手を見直す余地	也がある。	, () あ	iる	•	ない					0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	内方法の変更	などにより	ノコフ	スト削減の余地	也がある。	, () あ	iる	0	ない					0	ある	•	ない
					_	·次評	価									二次評	·価				
	評化	三	必要性	有効性	達成	度	効率性	総	合評価		Ų	必要 怕	生	有効性	達	成度	効率	生	総	合評	·価
	<u></u>	を の	4 ○ 拡大·充	4 	_ 4 .状維持	ТО	<u> 4 </u> 方法改善		A 間委託等	É	0	4 垃 オ	<u> </u> ₹•充実	4 • •	<u> </u> 見状維持	<u>4</u>	<u> 4 </u> 方法改善	É		A 表	千笙
		句性	○ 縮小		終期設定	6	廃止/休止	O KII	可安心。	_	$\frac{3}{0}$	縮小			/終期設定		廃止/休		O KIF	134	<u> </u>
C			O HILLS	10 100 11	1279711272	<u> </u>	<i>30—7</i> 11—				Ť	·					び一次評		の相違点	į	
ACTION							か増えないのか 利用をためらう			用時	提供				録者の増	加に、引	き続き取	り組も	ことともに	、効見	果的な広
N	と写 計	草案 実行 画	引き続き広報者福祉ネット「	啓発活動にエ フークと協議	取り組みます をしながらむ 	す。ま 女善に	た、利用方法に 三努めます。	こついては	は、徳島!	見勤党	報型	系発活 	ⅰ動を行	います。							
		員会 i事項																			

	No. 17 —	15 基本事務事	業名 病児	₹∙病後児	保育事業	事務	務事業名	病児・	病後児設	置事剂	务	公的関与	9 シ	一卜作成日	令和2年	F8月11日
	部局名	健	康福祉		課名		て支援誤		主務課長		/]	松隆		−ト作成者ネ		∶友晴美
	事業区分	○ 1 ソフト			3 経常的事務				·負担金·克		車業温	営方法	1 直			è部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持	持管理	〇 6 Þ		理事務・そ	の他	事 未足	古刀丛		-部委託	✓ 4 ネ	甫助等
		基本構想(政							実施計画					の開始・終		
	総合計画	基本計画(施							該当		平成	28 年	<mark>~</mark> 令		E 🛂 期間	設定なし
		主要施策	(1)	多様な子	育て支援施策	での推進		<u> </u>	非該当		根拠	去令等	児童福祉	:法		
		対象(誰を、 何を)	市民(特		なび認定こども											
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的		就労等で、乳幼 :乳幼児等への											
PL		たいのか)			従事者の研修			目指し、	安心して預	頁けられ	こる事業と	なるよう指	貸します	0		
AN		具体的にどの														
N		•			子どもが疾病等					\場合	こ、子ども	を一時的に	こ預かる	<u>事業です。</u>		
	事業の)			病院等の専用						·- · ·					
	活動内容)	育中に微	(熱を出すな	など体調不良と	なった場	合におい	て、保育	所等に通	所する	児童に対	し保健的な	は対応等を	を図る。		
		4														
		⑤	7			- 1 ×	/ _		Tr et 00	、左南	E	△1 □ −	左曲	△1 □ /	- 左曲	目幼口抽
		指標名		計昇丸义	は指標設定理	単		標	平成 30	一年段	2	令和 元	<u>年</u> 2	令和 2	<u>年</u> 度 4	最終目標
	数値目標	病児•病後児保育	実施施設	設置施設	数	笛		績			2		2			+
	(事業の目的 及び活動内							標								
	容の達成度							績								
	を測る指標)							標								
								績								
	予算費目	会計		一般:	会計			民生	ŧ		項 3	児童福祉	上費	目	児童福	业総務費
			平	成 30	0 年度決	算一令	和	元	年度決算	令	和	2 年	度予算		備考	
		国庫支出			5,370	千円			5,419 ∓F	9		9,3	399 千円			
		県 支 出	金		5,357	千円			5,419 ∓F	9		9,3	399 千円			
	直接事業費	地 方	債			千円			千F	_			千円			
D	但该于木具	その他特定則			768 -				600 ∓F				000 千円			
0		一般財	源		5,177 ⁻				5,419 ↑ F			,	399 千円			
		計(A)		. 1	16,672			1	6,857 ∓F			28,	97 千円			
	L/4 # /= \	正職員工数·網		人	0	千円	人		0 千F	9	人		0 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職		, 1									0			
		臨時·嘱託工数·	経 費	人	0 -		人		0 ∓F		人	00	0 千円			
	全体争员	業費(A+B)			16,672	千円		1	<mark>6,857</mark> 千F	4		28,	197 千円			

				チュ	ック項目				− ≥	欠評価	ī	_	-次評価 <i>0</i>)説明		二岁	マ評価	
		1.				生が確保できる等 も影響は大きくな		0	少ない	0	大きい	護者のニ	の就労支 ズは特I	こ高く、仕	上事 📗	○ 少ない	O :	大きい
	必要	2.	厳しい財政料	<mark>伏況の中、次</mark> 年	F度以降実施	拖する緊急性が認	ぬられない。	0	ない	•	ある	と家庭のな事業で	両立の支持	爰として必	必要 (○ ない	● i	ある
	性					方法等の改善の		0	ある	•	ない	る事未じ	9 0) ある	O 7	ない
		4.		の低下がみられ ビスとなってい		隣自治体と比較 U	ノてニーズを	0	いる	•	いない				() เง	● (いない
		1.	施策の目的を	実現するために	、事業内容が	が必ずしも適切とに	はいえない。	0	いえない	• •	いえる		どでは、症 できないの			○ いえない	● (いえる
	有効	2.	事業内容のマン	ンネリ化など、カ	施策への貢献	度が著しく高いと	はいえない。	0	いえない	•	いえる	休めない	保護者に			○ いえない	(a)	ハえる
CH	性	3.	市が実施する	る施策の中で舞	頃似・重複し	した事務事業が 存	在する。	0	する	•	しない	有効な事	・耒です。		(する	● 1	しない
E		4.	事業の継続る	をしても成果の	の向上が期待	寺できない。		0	できない	•	できる				(○ できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗状況	兄が劣ってし	いると思う。		0	目標にと	とべて劣	っている	病児保育増加して	施設の利	用者は年	[夕]	◯ 目標に比	べて劣っ	ている
	達	2.	目標設定に対	対して成果があ	あまり上がっ	っていないと思う	, .	0	あまり上	がってい	ない		v ··•••			う あまり上が	バっていな	ולו
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目標	票を達成して	ていると思う。		0	概ね達成	 龙してい	<u>る</u>				(概ね達成	えしている	
		4.	目標設定に対	対して十分に目	目標を達成し	していると思う。		•	十分達用	或してい	る				(● 十分達原	えしている)
		1.	効果に比べて	てコストが高い	,١,			0	高い	0	適当	近隣市町調整を図	付の病児	保育施設	<u>ځ</u> ك (○ 高い	• ;	適当
	効率	2.	他の実施主体	本のノウハウヤ	や新たな制度	度を活用できる。		0	できる	•	できない	明正で凶	7670		(できる	•	できない
	坐性	3.	予算・人員の	と成果の関係で	で、実施手具	ひ等を見直す余地	也がある。	0	ある	•	ない				() ある	① 7	ない
		4.	電子化や契約	約方法の変更な	ょどにより=	コスト削減の余地	也がある。	0	ある	•	ない				(<u></u> ある	① 7	ない
					-	マ評価								欠評価	•			
	評値	五点	必要性	有効性	達成度		総合評	価		必要性	生	有効性	達成度	支	<u> </u>	松	合評值	5
	全名	を の	4 ○ 拡大·充	<u> 4 </u>	<u> </u>	 4 ○ 方法改善	A ○ 民間委i	千筀	O	<u>4</u> 拡大	<u></u> 、·充実		4 	○ 方法	4 去改善		A 間委託	<u></u>
Λ		句性	○ 縮小	○ 統合/終		○ 廃止/休止	0 2014794		$ \overset{\smile}{C}$			統合/終			<u>5 0 1</u> 上/休山		-75 10	`
AC			/n=++ +/ / > a	•	•	- // ID /D	++1-01-0		<u>_</u>		二次			及び一	次評価	しの相違,	į.	
H -0	当課	日百	機関が実施し	ており年間利力	用者は増加し	i後児保育事業は しているが、医療を の必要があります	機関はコスト面		.い 保					用に向け	·医療機	関と調整を	図り、唐	別活
N	と 計	画	円滑な運営が	ができるよう補助	か金の活用な	こと財源の確保を	行います。		動	を推進	し利用者	の拡大に	努めます。 					
		量会 事項																

	No. 17 —	16 基本事務事	業名 子	育て支援セ	ンター事務	事務事	業名	育て支援センタ	ター事務	公的関	与 2 シ	シート作成日	令和2年	8月13日
	部局名	侹	康福祉	部	課名	子育てえ		主務課長		小松 隧	シ	一卜作成者名	森	友晴美
	事業区分	○ 1 ソフト?		(3 経常的事務事	業) 5 補助	金・負担金・支	援 🗼	業運営方法	_±	直営	□ 3 全	部委託
	争未应力	○ 2 ハード	事業	0 4	4 施設の維持管	理) 6 内部	管理事務・その	か他 ^{争:}	未连占力。	✓ 2 ·	一部委託	□ 4 補	助等
		基本構想(政	(策) 1.	やさしく健っ	やかな阿波			実施計画			事美	業の開始・終了	•	
	総合計画	基本計画(施	策)(2)子育て支	援の充実		(1 該当	平	成	年 ~ 4	令和 年	☑ 期間	設定なし
		主要施策	(1)多様な子	育て支援施策 <i>σ</i>	推進		2 非該当	根	拠法令等	児童福祉	祉法	<u>iii</u>	
		対象(誰を、 何を)	子育で「	中の親子(主 -	に保育所等に入	所されてし	いない3歳	児以下のお子を	さんとそのイ	呆護者)				
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	地域の子	育て支援の拠点と	して機能	するととも	」に、他の支援団	団体と連携し	し、安心して	利用できる	場を提供します		
PL		たいのか)	今年度	地域の子	育て支援の拠点と	して機能	するととも	」に、他の支援団	団体と連携し	し、安心して	利用できる	場を提供します		
A					ますか。(主なも	の5つま	で)							
N					供と交流の促進									
	事業の	② 子育てに												
	活動内容	③ 地域の子	・育て関連	連情報の提信	<u></u>									
		4												
		5												
		指標名	<u> </u>	計算式又	は指標設定理由	単位		平成 30		令和	元 年度		年度	最終目標
	数値目標	利用者		利用者延ん	べ数	人	目標		15000		15000		20000	20000
	(事業の目的			17773 11 ~	~		実績		13607		9207	7		
	及び活動内	地域子育て支援も	2ンター設	設置数		箇所	目標		4			4	7	8
	容の達成度 を測る指標)	置数		IX E X		E-771	実績		4		4	4		
	で別の指標/						目標							
	- 	11			A - I	<u> </u>	実績	.1 -15			= 1 1 - 11 5			1.411 75 +th
	予算費目	会 計		一般包		款			項	3 児童		目 1	児童福祉	上総務實
				平成 30		令和	元	年度決算	令和	2	年度予算		備考	
		国庫支出			9,773 千円			6,772 千円			19,252 ∓⊬			
		県 支 出	金		9,353 千円			6,772 千円			19,252 ∓⊬			
	直接事業費	地 方	債		千円	-		千円			千円			
D		その他特定則			千円			千円			千円	_		
0		一般財	源		8,934 ∓₽			6,773 千円			23,859 千円			
		計(A)	/고 #	, 1	28,060 ∓₽			20,317 千円		-	62,363 千円			
	1 /4 建 /ラン	正職員工数:		人	0 千円	1	人	0 千円		人	0 千円	4		
	人件費(B)	臨時·嘱託聯		, l	0			0 ==			0 ===	_		
		臨時·嘱託工数· 業費(A+B)	社 質	ᄉᆝ	0 千円 28.060 壬円		人	0 千円		人	0 千円 62.363 壬円	_		
	T 1/1 = 1	モゼ(ATB)			ZX UNU ±±			/[1.51] 十円			1/ 3D3 + H	11		

				チェ	ック項目				— <u>2</u>	欠評価		_	·次評価の	り説明			二次	評価	i
		1.	市が実施しなく主体があり、事業					0	少ない	● ★	きい	子どもの; けでなく、				0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の	の中、次年	度以降実施	する緊急性が認	忍められない。	•	ない	O ъ	る	したり、在できる場所				0	ない	•	ある
	女性	3.	住民満足度の向上の	のために、ヨ	見在の手段、ス	方法等の改善の	余地がある。	0	ある	な	١٦	じさる場合	がこなって	いより	0	0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの低し上回るサービス。			自治体と比較し	ンてニーズを 	0	いる	○ い	ない				•	0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を実現す	するために、	事業内容が	必ずしも適切と	はいえない。	0	いえない	● い	える	各認定これ				0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマンネリ)化など、施	策への貢献度	が著しく高いと	はいえない。	0	いえない	● い	える	利用者が	分散し利			0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する施設	策の中で類	[似・重複し]	た事務事業が存	存在する。	0	する	⊙ ∪	ない	があります	f 。		•	0	する	•	しない
CHECK		4.	事業の継続をし	ても成果の	向上が期待	できない。		0	できない	● で	きる				•	•	できない	0	できる
CK		1.	目標設定に対して	て進捗状況	が劣ってい	ると思う。		0	目標に比	とべて劣って	こいる	今年度か				0	目標に比っ	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対して	て成果があ	まり上がって	ていないと思う	5 。	0	あまり上っ	がっていなし	۸,	に4か所、	及び私立	こども	園内に	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対して	て概ね目標	を達成して	いると思う。		0	概ね達瓦			2カ所の - 開設し、 -				•	概ね達成	してい	გ
	/2	4.	目標設定に対して	て十分に目	標を達成し [・]	ていると思う。		_				る。)) . O IF III	H/3 C		0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べてコス	ストが高い	0			0	高い		当	認定こど				0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体の	ノウハウや	新たな制度	<u></u>		0	できる	● で	きない	ンターに ため、今後	可用状况(发実施手即	り俗 左 殳を見	かめる 直す必	0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と成り	果の関係で	、実施手段	等を見直す余均	也がある。	•	ある	な	:L\	要がある	o		•	0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約方法	法の変更な	どによりコ	スト削減の余均	也がある。	0	ある	な	ı۱۱				•	0	ある	•	ない
					一次訂	平価							=	次評值	<u> </u>				
	評値	西点		有効性	達成度	効率性	総合評	価		必要性	1	与効性	達成原	复	効率性	ŧ	総	合評	価
		後の	3 ○ 拡大·充実	4 ┃	4 :維持 [C	_ 3 〕方法改善	A O 民間委i	エ生	0	4 拡大∙∶	女宝	3 │	3 :維持		<u>4</u> 方法改善	<u> </u>		A 表記	1生
		句性	○縮小	統合/終			〇 以间安市	<u> </u>				統合/終			<u>カムゆき</u> 発止/休.		O KIE	又口	<u> </u>
C										11111		評価での					の相違点		
ACTIO		面の :題	阿波子育て支援も こども園で運営し め、サービス内容	ており、充分	か施設整備が	できたが、利用	状況に格差がる			毎記の利	田井岩	き勘案した	こがら 艹	ー ビフ	内突の3	5年1-	- 奴め士?	<u>-</u>	
N	と多	革案 実行 画	それぞれの子育で 上させるため支援			 生かしながら運	営の充実・効率	 性を[i≝ax V7 ∱i	7171A77	で 倒未した	<i>-</i> ₩·Ð、9		ri i 🗗 W		ー 刃 ぴノ か り	' 0	
		員会 事項																	

	No. 17 —	17 基本事務事	業名 児童	重手当給 信	寸事務	事務事	業名 児	童手当支給哥	事務		公的関与 1	シー	一卜作成日	令和2:	年8月13日
	部局名	健	康福祉	部	課名	子育て支	援課	主務課長	長名	小	松 隆	シー	-卜作成者名		央里、池田悠佳
	事業区分	○ 1 ソフト	事業	•	3 経常的事務事	業	5 補助	金•負担金•	支援	車業温	営方法 📙	1 直			全部委託
	争未区力	2 ハード			4 施設の維持管	理	6 内部	管理事務・そ		事未 连	:古기仏		·部委託		補助等
		基本構想(政						実施計画					の開始・終		
	総合計画	基本計画(施					<u> </u>)1 該当		平成	年 ~	令	和	F / 期	間設定なし
		主要施策	(1))多様な子	·育て支援施策の	推進	C)2 非該当		根拠沿	去令等 児	童手当:	法等		
		対象(誰を、 何を)	0歳から	中学修了ま	ドでの児童を養育す	る父母等	[
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的	手当を支	給することにより、	次代の社会	会を担うり	見童の健やか	な育ちを	応援しま	きす。				
PL		たいのか)	今年度												
AN					ヽますか。(主なも	の5つま	で)								
N		① 対象者か													
	事業の	_			♪の手当を支給しま										
	活動内容	\circ	2児童は1	5, 000円	、3歳以上小学校修	了前までの	の児童は貧	第1・2子は10,	000円	、第3子以	以降は15,00	0円、中	ュ学生は一律	±10, 000	円を支給します。
		4													
		5		= 1 to to =		252.7.1			- -		^		A 7	- - -	
		指標名	<u> </u>	計算式又	は指標設定理由	単位		平成 30)年度		令和 元 年	芟	令和 2	<u> </u>	最終目標
	数値目標	受給者数					目標 実績		20	057		-			
	(事業の目的 及び活動内						日標		20	757					
	及び活動内 容の達成度						実績								
	を測る指標)						目標							-	
							実績								
	予算費目	会 計		一般	会計	款		生費		項			目		
			平	成 30	0 年度決算	令和	元	年度決算	令 和		2 年度 ⁻	7算		備考	
		国庫支出	金		360,800 千円			千日	7			千円			
		県 支 出	金		79,700 千円			千日	ŋ			千円			
	直接事業費	地 方	債		千円			千日	"			千円			
D	但按爭未其	その他特定則	オ源		千円			千日	円			千円			
0		一 般 財	源		79,700 千円			千日	円			千円			
		計(A)			520,200 千円			0 千F				千円			
		正職員工数·絲		500 人	2,903 千円		人	0 千F	9	人	0	千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職													
	A 11 = 1	臨時·嘱託工数·	経費	人	0 千円		人	0 ∓F		人		千円			
	全体事	業費(A+B)			523,103 千円			0 ∓i	円		0	千円			

						ック項目						_	次評値	Ш		_	-次評価(の説	明		二次	評価	i
		1.						、確保できる等 と響は大きくな		の実施	0	少ない	•	大き	۱J		援は必要 た事業で		り、法で	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政物	犬況の中	,次年	度以降実	€施す	る緊急性が認	恩められ	れない。	0	ない	•	ある						0	ない	•	ある
	性							法等の改善の余			0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサーt				「隣自	治体と比較し	てニ-	ーズを	0	いる	0	いな	い					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現する	ために、	、事業内容	学が必	ずしも適切とに	まいえ7	ない。	0	いえな	n o	いえ	る	経済的支	援は養育	上有	効です。	0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ノネリ化	など、施	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	献度な	が著しく高いと	はいえ	ない。	•	いえな	n O	いえ	る					0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	。 施策σ	中で類	似・重複	夏した	事務事業が存	存在する	る。	0	する	0	しな	い					0	する	•	しない
KOMEO		4.	事業の継続る	をしても	成果の	向上が期	明待で	ごきない 。			0	できない	γ <u></u>	でき	る					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進	進捗状況	が劣って	こいる	と思う。			0	目標に	比べて貧	劣ってい	る		に基づき	事務	を適正に	0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	対して成	大果があ	まり上か	うって	いないと思う	5 。		0	あまり上	_がってし	いない		行ってい	まり。			0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して根	現ね目標	を達成し	てし	いると思う。			0	概ね達	成してに	いる						0	概ね達成	してい	る
	^	4.	目標設定に対	付して十	分に目	標を達成	えして	いると思う。				十分達								•	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	こコスト	が高い	١,					0	高い	0	適当	á		の方法等			0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	本のノウ	ハウや	新たな制	川度を				0	できる	•	でき	ない	・削減の第	・地はあり	より 。		0	できる	0	できない
	率性	3.	予算・人員と		関係で	、実施手	段等	Fを見直す余地 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	bがあ.	る。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	カ方法σ	変更な	どにより	リコス	、ト削減の余地	也がある	る。	•	ある	0	ない						•	ある	0	ない
						_	次評	·価									=	次評	価				
	評値	三点	必要性			達成原	芰	効率性		総合評	価		必要	性	7	与効性	達成	弃	効率	生	総	合評	-価
	△ %	を の	4 ○ 拡大·充		3 ● 現状	4 ├維蛙	0	<u> 3 </u> 方法改善		A 民間委託	华		<u>4</u>)拡	大•充	<u> </u> 宇		<u> 4 </u> 犬維持		<u> 3 </u> 方法改善	É		A ■禾■	<u> </u>
		句性	○ 縮小		_	期設定		<u> </u>	0 1	以间安市	<u></u>) 縮/			統合/終			廃止/休		O KIE	又口	L 11
A	73.) 1/1L 1	U 19		74711272		70 <u>—</u> 11 —					J 1114	-			指摘事項				の相違点	į	
ACH-O		面の						こともあるため、 ·得る努力が必			や制		一座の「				などについ						
N	と事 計	革案 と行 画	広報、個別通 す。	 知など ⁻	— で制度 <i>の</i>	一)内容やヨ	手続き	その方法につい	て周知	田徹底を	図りま		1反()	11 / T	- יצוי	にでリルム	·&C C)(, - C12	3 (10) AH ()	、	こ天心し	Ф У	5
		員会 i事項																					

	No. 17 —	18 基本事務事	業名 未熟	热児養育區	医療事業	事	務事業名	1 未熟	热養育養育医	療事	業	公的関与 9	シート	~作成日	令和2年	8月31日
	部局名		康福祉	-	課名		育て支援		主務課長		/]	松 隆		作成者名		型川 香
	事業区分	○ 1 ソフト			3 経常的事				金·負担金·戈		重業 涯	1 'B' L \L	1 直営			全部委託
	事未 匹力	○ 2 ハード			4 施設の維持	寺管理	0 6	内部領	管理事務・そ	の他	于木廷	✓	2 一部			甫助等
		基本構想(政							実施計画					開始・終っ		
	総合計画	基本計画(施							1 該当		平成	年 ~	令和			間設定なし
		主要施策	(1)	多様な子	·育て支援施策	策の推済	<u>售</u>	0	2 非該当		根拠	去令等 母子假	健法、徳	島県未熟児	養育医療費等	等負担金交付要綱
		対象(誰を、 何を)	市内に住									養育必要と認め				
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的	身体の発 ます。	育が未熟なま	まで生ま	れた乳児	に対し	ンて、指定医療	機関で	を速やかっ	で適切な処置を	講じ、乳	.児の健康	の保持及	び増進を図り
PL		たいのか)	今年度													
AN		具体的にどの														
N		① 指定養育														
	事業の				事業で公費負	担となる	ため、所	得に応	じた一部負担	金の必	必要があ	りません。				
	活動内容	③ 所得制限	を撤廃し	ています。												
		4								- 部負担金の必要がありません。 - 成 30 年度						
		5	_	T=1.55 %		まない事業 定しません。 目標 目標 実績 目標 実績 実績 年度決算 令和 年度決算 令和 2 年度予算 備考										
		指標名	<u> </u>					¬ 1#	半成 30	年度	,	令和 元 年度		令和 2	年度	最終目標
	数値目標												_			
	(事業の目的 及び活動内			C00/0120	が、設定しよせ	<i>7</i> 0°										
	双び活動内 容の達成度												-			
	を測る指標)															
	予算費目	会 計		一般	会計	·					項					
			平	7成 3	0 年度決	:算 📗 🐣	令和	元	年度決算	令	和	2 年度予	算		備考	
		国庫支出	金		850	千円			134 ∓⊬	3		1,080	千円			
			金		413	千円			67 千円	}		540	千円			
	直接事業費	地方	債			千円										
D	但孩子未具	その他特定則				千円										
0		一般財	源		957				110 千円							
		計(A)	v # -	200 '	2,220				311 ∓ F			2,167				
		正職員工数·網		200 人	1,161	千円	人		0 千円	3	人	0	千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職		, 1		- m			0		ı		- m			
		臨時·嘱託工数· 業費(A+B)	栓質	人	3,381	千円	人		0 千円 311 千円		人	2,167	千円			
	土冲争	木貝(ATD)			১,১০ ৷	十四			311 +	1		2,107	一门			

					チェ	ック項目						次評值	5		_	-次評価(の説	明		二次	評価	li .
		1.						、確保できる等 と響は大きくな		0	少ない	•	大き	い		、正常な			0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政	犬況の中	、次年	度以降実	[施す	る緊急性が認	ぬられない。	0	ない	•	ある			の死亡率か、心身の			0	ない	•	ある
	性	3.	住民満足度の	向上のた。	めに、ヨ	現在の手段	设、方	法等の改善の急	余地がある。	0	ある	•	ない			が、心身で、、速やか			0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの上回るサート				[隣自	治体と比較し	,てニーズを	0	いる	•	いなし	Į,\		ことが必要 と要性は大			0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現する	ために、	、事業内容	₹が必	ずしも適切とは	はいえない。	0	いえなし	,	いえる	3	この部分い面があ	について	は、半	断しにく	0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ンネリ化な	ょど、施	策への貢	献度な	が著しく高いと	はいえない。	0	いえなし	,	いえる	3	о щи од	,,,,,,			0	いえない	•	いえる
CH	効 性	3.	市が実施する	る施策の	中で類	似・重複	更した	事務事業が存	在する。	0	する	•	しなし	,١					0	する	•	しない
E		4.	事業の継続	をしても	成果の	向上が期	得で	きない。		0	できなし	,	できる	3					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進	捗状況	が劣って	いる	と思う。		0	目標に	北べて貧	片ってい	る	目標設定事業です	するのに	ふされ	っしくない	0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	対して成	果があ	まり上が	うて	いないと思う	, ₀	0	あまり上	がってし	いない		デポくり	0			0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概	ね目標	を達成し	てい	ると思う。		0	概ね達	成してに	いる						0	概ね達成	してい	<i>-</i> 3
		4.	目標設定に対	対して十	分に目	標を達成	えして	いると思う。		•	十分達	成してに	いる						•	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	てコスト	が高い	١,				0	高い	0	適当			に沿ってストを比較			0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主任	本のノウ	ハウや	新たな制	度を	活用できる。		0	できる	•	できた	はい	いです。	VI 670+X	7 0	/ΛΙΟ Χ ΕΟ	0	できる	•	できない
	性	3.	予算・人員の	と成果の	関係で	、実施手	段等	を見直す余地	がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	約方法の	変更な	:どにより	コス	ト削減の余地	がある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
							次評	•							•	=	次評	•				
	評値	西点	必要性	有效		達成原	芰	効率性	総合評	価		必要	性	4	与 効性	達成	芰	効率	生	総	合評	<u>·</u> 価
	<u>수</u> %	を の	4 ○ 拡大・対	<u> 4</u> ★宝 @	·)現状	<u>4</u> ├維持		4 方法改善	A ○ 民間委詞	千笙		<u>4</u>)拡 ⁻	大・充	宝		<u>【 4</u> ├維持		<u>4</u> 方法改善			A 引委記	千生
Α		句性	○ 縮小			期設定		廃止/休止	O DUINGE	-		- 7.1		$\widehat{\bigcirc}$	統合/終		_	<u> </u>		<u> </u>		
A)	10									_	二次	評価での					の相違点	į	
TIO			特に妊婦に対の方法を普及]り、未熟児養育	育上の正しい知	間識と	未				業の制度				≣やか	に適切な	:処置	を講じる
N	اع	革案 実行 ·画	広報誌、ホー	-ムページ	ぎ等を利	別用し、制度	要の!	割知を行います	0			とで、『	乳児の	健康	その保持及 かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	び増進を	図りる	ます。				
		員会 i事項																				

## 2		No. 17 —	19 基本事務事業	業名 子ど	も・子育て	支援新制度事	業 事	務事業名	3 子と	も・子育てき	支援新	制度事	業 公的関与	1 5	ノート作成日	│ 令和2年	F8月13日
本来区方 2 ハード事業 3 体験の難持管理 6 内部管理事務・その他 本来圏の 3 本		部局名	健.	康福祉	邹	課名	子	育て支援	課	主務課	長名		小松 隆	シ	ート作成者		
A		車業区分						_				車業	運営方法				
総合計画 基本計画施策 (2)子育で支援の充実 ● 1 該当 平成 年 ~ 令和 年 2 期間設定なしま要施策 (1)多様な子育で支援施策の推進		争未区力					特管理	0 6	内部] 事本	廷召刀丛				補助等
主要施策											Ī						
対象 (諸在・		総合計画							O					~ 令	s和 ·	年 🛂 期間	間設定なし
事業の対象・目的				(1)	多様な子	育て支援施領	後の推済	進	0	2 非該当		根	见法令等				
対象・目的 対象・目的 対象・目的 大概にしたいのか) 大概にしたいのか。 大概を行います。 大概を行				全市民	(特に、次作	代を担う児童と	その保	護者、また	-子育	て世帯)							
大いのか 今年度 第2期阿波市子ども・子育で支援事業計画」の初年度にあたり、阿波市子ども子育て会議において実施検証を行います。		対象 ■日的		最終的									て支援の拡張	充や質の	向上を図り、	子どもの健 ⁴	やかな育ちと保
事業の 活動内容 活標名 計算式又は指標設定理由 単位 平成 30 年度 令和 元 年度 令和 元 年度 最終目標 地域子ども子育て支援事業 阿波市子ども・子育て支援事業計画に基づくもの 日標 東義計画に基づくもの 日標 東義計画に基づくもの 日標 東義計画に基づくもの 日標 東義計画に基づくもの 日標 東義計画に基づくもの 日標 東義計画に基づくもの 日標 東表稿 日本 東東稿 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	L		: "	今年度	「第2期阿	波市子ども・子	育て支	援事業計	·画」の	初年度にある	たり、阝	阿波市子	ども子育て	会議におり	いて実施検記	正を行います	•
事業の 活動内容 活標名 計算式又は指標設定理由 単位 平成 30 年度 令和 元 年度 令和 元 年度 最終目標 地域子ども子育て支援事業 阿波市子ども・子育て支援事業計画に基づくもの 日標 東義計画に基づくもの 日標 東義計画に基づくもの 日標 東義計画に基づくもの 日標 東義計画に基づくもの 日標 東義計画に基づくもの 日標 東義計画に基づくもの 日標 東表稿 日本 東東稿 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	A						なもの	5つまで)									
活動内容 3 4 5 5 5 5 5 5 5 5 5	N)	ども・子育	で会議の	開催											
1)														
指標名 計算式又は指標設定理由 単位 平成 30 年度 令和 元 年度 最終目標 事業計画に基づくもの 実績 100		活動内容	•														
指標名 計算式又は指標設定理由 単位																	
数値目標)				m 	兴 /		T = + 0	о Д	—	△1 □ −	左曲		。 左曲	
Table Ta									口抽	平成 3	80 年		令和 元				
日標 日標 日標 日標 日標 日標 日標 日標				支援事業			援									100	100
上京					子 木 川 口	(全)(00)						70.5		70.5			
日標 実績 1 日標 実績 1 日本 日本																	
字積		を測る指標)															
予算費目 会 計																	
Image: 10 mm		予算費目	会 計		一般:	会計	<u> </u>			Ē費		項	3 児童福	祉費	目	1 児童福	祉総務費
Left				平	·成 30) 年度決	算	令和	元	年度決算	I 1	令和	2 年				
D							千円			Ŧ	円			千円	☑地域子ど:	も子育て支	援事業10/13
D 0											_						
CO 他特定財源 千円 1円		直接事業費									_						
計(A) 2,506 千円 3,237 千円 2,840 千円 正職員工数·経費 人 0 千円 人 0 千円 人 0 千円 人件費(B) 臨時・嘱託職種 人 0 千円 人 0 千円 人 0 千円		正汉于水文															
工職員工数·経費 人 0 FP 人 0 FP 人 0 FP 人件費(B) 臨時·嘱託職種 0 FP 人 0 FP 人 0 FP	U			源													
人件費(B) 臨時·嘱託職種 0 FP FP FP FP 高時·嘱託工数·経費 人 0 FP 人 0 FP				7 进	, ,												
臨時·嘱託工数·経費 人 O 千円 人 TH 人 O 千円		↓## # (D)			人	U	十円	人		0 7	円		\ <u> </u>	∪ 千円	4		
		人計賞(B)			<u>ı</u>	0	I III	I		<u> </u>	Ш	-		0 7 11			
		全体事		生其					·								

					ェック項目						一次	マ評価	6		_	-次評価の	り説り	月		二次	評価	ī
		1.	市が実施しな主体があり、				が確保できる等 ジ響は大きくな		実施	0	少ない	•	大き	い	ども・子育	子育て3法 育て支援新	制度	」事業	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	だ況の中、次	年度以降実	€施す	トる緊急性が認	忍められな	ない。	\bigcirc	ない	•	ある			村において f付けらて			0	ない	•	ある
	性	3.	住民満足度の向	上のために、	現在の手段	设、方	法等の改善の	余地がある	5 。(\supset	ある	0	ない		上 守我仍	11111111111111111111111111111111111111	10 (0	'	0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサービ			[隣自	目治体と比較し	ノてニース	ズを	0	いる	•	いなし	い					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を実	実現するために	二、事業内容	₹が必	がずしも適切とに	まいえなし	, \ _0	0	いえない	•	いえる	3	子ども・う	子育て3法 な市子ども	に基 [*] • 子音	づき作成 で支援	0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	·ネリ化など、	施策への貢	献度	が著しく高いと	はいえない	, \ _0	\supset	いえない	•	いえる	3		i」を推進し			0	いえない	•	いえる
C	効 性	3.	市が実施する	施策の中で	類似・重複	更した	事務事業が存	存在する。	, {	0	する	•	しなし	۸,					0	する	•	しない
CHECK		4.	事業の継続を	しても成果	の向上が期	得て	ごきない。		(0	できない	•	できる	3					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	して進捗状	況が劣って	こいる	らと思う。			<u> </u>	目標に比	べて生	らってい	る		度から5年 期阿波市			0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	して成果が	あまり上か	「って	こいないと思う	5 。) i	あまり上か	「ってし <u></u>	ない		て支援事	業計画」	-掲け	る個々	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	けして概ね目	標を達成し	てし	いると思う。		(• · ·	概ね達成	してい	 \る		の施策の す。	早期実現	を目	指しま	0	概ね達成	してい	გ
	^	4.	目標設定に対	けして十分に	目標を達成	えして	こいると思う。		()	十分達成	えしてい	る		, ,				•	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	コストが高	い。				{	0	高い	•	適当	i		に向け効 っています		な事業	0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	のノウハウ	や新たな制	度を	た活用できる。		{	0	できる	0	できた	ない	理呂で凶	うていまり	0		0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	:成果の関係	で、実施手	-段等	手を見直す余地	也がある。	, (0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
	.—	4.	電子化や契約	方法の変更	などにより	リコス	スト削減の余地	也がある。	, (0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
					_	次評	価									=	次評	価				
	評化	西点	必要性	有効性	達成	芰	効率性	総	合評個	<u> </u>	Į	必要 ⁴	性	1	与 効性	達成原	支	効率性	生	総	合評	価
		後の		生 6 担	<u> 3 </u> 状維持	0	<u> 4 </u> 方法改善	〇 民間		<u>+</u>	0	4	<u></u> 大・充	宇		4 - 維性	$\overline{}$	<u>4</u> 方法改善	É	○ 民間	A 表	1生
		句性			火幅时 冬期設定		<u> </u>	O KIE	可安心			縮力		$\overline{\bigcirc}$	統合/終			<u> </u>		O KIE]女巾	L++
C			O 1111 3	1,0 1,0 11,11	1771HX/C		<i>7</i> 0—711—				Ĭ	111111				指摘事項				の相違点	į	
ACT-0	課	題	子どもの健やだっ、支援施策を			すてを	社会全体で支	援すること	とができ	るよ	「阿					事業計画」						
N	と国	草案 実行 画					ぐに子育て支援 :てるまちづくり:			実さ					ます。	יכ האי אי		× □ ∨ ν]	- CC	1144 T		11X 7 W
		員会 i事項																				

	No. 17 —	20 基本事務事	ない はない はいま はいま はい	Eこども園	等運営事業		事務事簿	に は は は は は れ は は は は は は は は は は は は は	定こども園等運	営事業	公的関与 3	シー	−ト作成日	令和2年	8月14日
	部局名	仮	建康福祉	部	課名	-	子育て支	援課	主務課長名	各	小松 隆	シー	ト作成者名		坂景子
	事業区分	0 1 ソフト			3 経常的事				金•負担金•支		業運営方法	1直	_		全部委託
	争未凸刀	○ 2 ハート	事業		4 施設の維	持管理		6 内部	管理事務・その)他 「 デ	*连古万丛	2 -	部委託	4 補	亅助等
		基本構想(政							実施計画				の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施			援の充実				1 該当	平		1- 1			設定なし
		主要施策	(1)	多様な子	-育て支援施	策の排	隹進	0	2 非該当	根	!拠法令等 阿湯	皮市条例	列•児童福祉》	ま・子ども・	子育て支援法
		対象(誰を、 何を)			育施設(公立 建した児童~家				保育所1箇所、私	立認定こ	ども園4園)。阿波	市に住	民登録してい	へる児童(4.	月1日現在で
		目的(どういう状態にし	最終的		保育を必要と よい保育環境			または3点	ま以上で教育を	希望される	児童の保護者が	安心して	て預けられる	場所の提係	共と安全を確
PL		たいのか)	今年度	子ども・子 携を密にし	・育て支援法の し、児童の入	の改正 退所事	に伴う新行 務や認定	制度につ :事務をP	いて理解を深め 引滑に行います。	、保育士	の資質向上を高め	ます。イ	保育所∙認定	こども園と	保護者の連
A		具体的にどの													
N		① 幼児教育	新無償化に	関する制度	度の変更につ	いて、	担当者間	での理解	解を深めるととも	に、利用を	皆に周知を行いま つ	す。			
	事業の								滑に行い、保育	士・保育教	牧諭の配置等、体育	制作りを	行います。		
	活動内容	③ 認定こど													
)	こども園	との連携を	・図り、認定事	務、請	求事務を	行います	0						
		5	_												
		指標		計算式又	ては指標設定	理由	単位	- I	平成 30		令和 元 年		令和 2		最終目標
	数値目標 (事業の目的	保育所・認定こど 入所児童数	も園	保育所•認	定こども園定員	合計	人	目標 実績		1135 863		1135 148		1250	1290
	及び活動内 容の達成度	認定こども園数			市内全ての保育 こども園に整備	所∙幼	園	目標 実績		6		6		6	6
	を測る指標)							目標							
							,	実績							
	予算費目	会計		一般	会計		款			項			目		
				成 30	1 12417		令和	元	年度決算	令和	2 年度			備考	
		国庫支出			46,025				54,024 千円		227,695				
		県 支 出	金		22,430				24,028 千円		119,476				
	直接事業費	地方	債			千円			0 千円			千円			
D		その他特定			17,778				12,773 千円		2,978				
0			源		312,473				318,379 千円 409,204 千円		308,094				
					200 700										
		計(A)	奴弗 1	000 1			1 000			1 000	658,243				
	l l	正職員工数:		000 人	398,706 5,805		1.000		6,038 千円	1.000	人 6,118				
	人件費(B)			000 人	5,805		1.000			1.000	人 6,118				

			チェック項目		一次	マ評価	一	マ評価の説	明	=	次評価
		1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	0	少ない	大きい	を行う場とし	に対する教 ンて、保育所	・認定こ	○ 少ない	● 大きい
	必要	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	0	ない	ある		要です。保護 に応えるため		○ ない	ある
	性	3.	住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	0	ある	● ない		も必要と考え		○ ある	● ない
		4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを 上回るサービスとなっている。	0	いる	● いない				○ เงื	いない
		1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	0	いえない	● いえる		ての両立支の児童の教		○ いえな	い の いえる
	有	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	0	いえない	いえる	して、保育所	沂・認定こど:	も園の役	○ いえな	い の いえる
C	効性	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	0	する	● しない	割は大きい	と考えます。		○ する	● しない
CHECK		4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	0	できない	● できる				○ できない	ハ
CK		1.	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	0	目標に比	べて劣っている		ま、ほとんど希 できています <i>た</i>		○ 目標に	比べて劣っている
	達	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	0	あまり上た	がっていない	過により、希	望の施設に入	、所できな	○ あまり」	こがっていない
	成度	3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<u> </u>	概ね達成		ます。また、注	,年々増加の(金中入所の児	童受入れ	● 概ね達	成している
	/2	4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。		十分達成	-		育士・保育教諭 もしくなっている		○ 十分達	成している
		1.	効果に比べてコストが高い。	0	高い	● 適当		園の整備や月		○高い	適当
	効	2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	•	できる	○ できない	- 行っことによ サービスの	り、コスト削 向上が図ら		● できる	○ できない
	率件	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	0	ある	○ ない	えます。			ある	○ ない
	.—	4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	0	ある	● ない				<u></u>	● ない
			一次評価					二次評	価		
	評化	西点	必要性 有効性 達成度 効率性 総合評	価	ļ		有効性	達成度	効率性	生	総合評価
		後の	4 4 4 3 2 B ○ 拡大·充実 ③ 現状維持 ○ 方法改善 ○ 民間委託	1生	0	4 拡大∙充実	4 ┃● 現状糸	3 推持 ○	<u>2</u> 方法改善	<u> </u>	<u> B </u> R間委託等
		句性		<u>L</u>		縮小	統合/終期		廃止/休		(旧女礼寺
A			C date 1 C date 11 december C North M. L. T.				評価での指				
ACTIO			保育環境、受入児童拡充のため、保育士・保育教諭の確保が急務であるます。	ると考		隻者のニーズに	で応えるため	認定にども!	割の口湯が	∵運営•毎班	に努めます
N	と 計	革案 実行 画	保育環境の充実を図るとともに、途中入所児の対応に必要な保育士・保 の確保に努めます。	育教		× a v — N N	- <i> </i> W/L-0/L-0/,	INVECE OF	~~ 1 1/년 4	D 住口 6 년	::〜刃 W/ ひ ヺ 。
		員会 i事項									

	No. 17 —	21 基本事務事	業名 子首	すて応援へ	ルパー派遣事業	事務事美	業名 子育	育て応援ヘルノ	パー派遣	事務 公的関	与 9 :	シート作成日	令和2年	8月13日
	部局名	優	建康福祉·	部	課名	子育て支	援課	主務課長	名	小松 隆		/一ト作成者名	森	友晴美
	事業区分	1 ソフト			3 経常的事務事			金•負担金•支		業運営方法		直営		部委託
	争未应力	○ 2 ハード			4 施設の維持管	理	6 内部	管理事務・その)他 The state of the state of	未连占刀刀	✓ 2	一部委託		助等
		基本構想(政						実施計画			事:	業の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施					<u> </u>)1 該当	平		¥ ~ *	令和 年	☑ 期間	設定なし
		主要施策	(1)	多様な子	·育て支援施策の	推進	0	2 非該当	柜	拠法令等				
		対象(誰を、 何を)	妊娠中、		後1年以内の方です									
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的		育児の支援が必要 に、児童福祉の向				派遣し、そ	れらの援助る	を行うことに	こより、子育て家	庭の心身の	の健康を維持
PL		たいのか)	, ,		時にリーフレットを			子育て世代包括	支援セン	ターなどで事	事業の周知	を図ります。		
AN					ゝますか。(主なも									
N)			託し、家事や育児の				が行います	•				
	事業の	,			、1回2時間、合計2									
	活動内容)	、市民税	課税世帯7	700円/時間。非課	悦世帯300	円。生活	保護世帯は無料	件です。					
		4												
		5	b	1=1 <i>1</i> =================================		1 W /L	ı		左击	∧ 1⊓ -	一左应	\ \1n \ \0	左立	
		指標名	Ď .	計昇丸メ	は指標設定理由	単位	目標	平成 30		节和 5	元 年度	令和 2	<u>年度</u> 25	最終目標
	数値目標	利用時間		利用者延	べ時間数	時間	実績		5 2			5 7		25
	(事業の目的 及び活動内						目標					/		
	容の達成度						実績							
	を測る指標)						目標							
							実績							
	予算費目	会 計		一般	会計	款		生費	項	3 児童社	a 祉費		児童福祉	L総務費
			平	成 30	0 年度決算	令和	元	年度決算	令和	2	年度予算		備考	
		国庫支出	: 金		千円			千円			千日	円		
		県 支 出	金		千円			千円			千日	円		
	直接事業費	地 方	債		千円			千円			千日	円		
D	但汉于木貝	その他特定則			1 千円			3 千円			14 ∓F			
0		一般財	源		5 千円			51 千円			136 ⊺ F			
		計(A)	(= -th		6 千円			54 千円			150 千F			
	1 /n 24 /_ \$	正職員工数:		人	0 千円		人	0 千円		人	0 千F	<u> </u>		
	人件費(B)	臨時·嘱託耶		, ,										
		臨時·嘱託工数·	·経費	人	0 千円		人	0 千円		人	0 ∓F			
	■ 全体事	業費(A+B)			6 千円			54 千円			150 ∓F	円 [

				チ	ェック項目					_	-次評	西		_	-次評価の	の説明	明		二次	評価	i
		1.					が確保できる等 じ響は大きくな		0	少なし	, ©)大き	い	事等の援	援へルパ 動をする	だけて	でなく、家	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政権	犬況の中、次	年度以降到	ミ施す	よる緊急性が認	認められない。		ない		ある			援者のい 子育て支持			0	ない	•	ある
	性	3.	住民満足度の	向上のために、	現在の手具	殳、 方	法等の改善の	余地がある。	0	ある	•	ない			丁貝(又が 度で対応			0	ある	•	ない
		4.		D低下がみら ごスとなって		丘隣自	自治体と比較し	ノてニーズを	0	いる	•) いな	い	庭への支	援を行う	事業で	ごす。	0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するために	二、事業内容	字が必	がずしも適切とに	まいえない 。	0	いえな	ı، 🗨	いえる	3		協議会が			0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	シネリ化など、	施策への貢	献度	が著しく高いと	はいえない。	0	いえな	い 🗨	いえる	る		きる事業で		-7070	0	いえない	•	いえる
C	効 性	3.	市が実施する	る施策の中で	類似・重複	复した	こ事務事業が存	存在する。	0	する	•	しない	い					0	する	•	しない
CHECK		4.	事業の継続る	をしても成果	の向上が其	明待で	できない。		0	できな	ι •) できる	<u>გ</u>					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗状	況が劣って	こいる	ると思う。		0	目標は	比べて	劣ってい	る		ではあるだ			0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	対して成果が	あまり上か	バつて	こいないと思う	5 。	0	あまり.	上がって	いない			あります。		37 Æ	0	あまり上か	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目	標を達成し	てし	いると思う。		0	概ね遺	を成して	いる						•	概ね達成	してい	る
		4.	目標設定に対	対して十分に	目標を達成		ていると思う。		Ō	十分道	産成して	いる						0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	てコストが高	ر۱ _°				0	高い	•	適当	í	委託料は	実績払い	のた	め、効率	0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	本のノウハウ	や新たな制	削度を	た活用できる。		0	できる	•) できれ	ない	は及いで	9 0			0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	ヒ成果の関係	で、実施引	F段等	手を見直す余 地	也がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	的方法の変更	などにより	ノコス	スト削減の余地	也がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
					_	·次評	F 価								=	次評	価				
	評化	耳	必要性	有効性	達成	度	効率性	総合記	平価		必要		4	与効性	達成原	茰	効率	生	総	合評	-価
	△ ½	多の	4 ○ 拡大·充	<u> 4</u> ★宝 ⑥ 珇	_ <u> 3</u> 状維持	0	4 方法改善	A ○ 民間委	纤笙	1		大・充	<u> </u> 宝		3 ├維珪	\bigcirc	<u>4</u> 方法改善	É		A 表記	 £笙
		句性	○ 縮小		冬期設定	0	廃止/休止	〇 民间安	——————————————————————————————————————				$\overline{\cap}$	統合/終			<u>万么设。</u> 廃止/休			134	
C			0 1111	10 1102	***************************************							-	二次		指摘事項				の相違点	į	
ACTIO		面の	支援が必要な	家庭が利用で	できるように	二一層	脅の周知拡大を	行います。							などを周知		家事及び	育児の	の支援が	必要	な家庭の
N	と事	革案 実行 ·画					かに、子育て世 の周知を行いる		ンタ -	-や	援助を行	テい、リ	見童	福祉の向」	上に努めま	ぎす。					
		員会 第事項																			

	No. 17 —	22 基本事務事			爰事業	事務	事業名	在年	官育児応援ク	ーポン事		公的関与	9	シート作り		令和2年	E8月13日
	部局名	優	建康福祉·		課名		て支援語		主務課長		小	松隆		ート作成	者名		央里、池田悠佳
	事業区分	1 ソフト	事業		3 経常的事務				金・負担金・支		李洱	営方法		直営		3 :	全部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持	持管理	061	为部 律	管理事務・その	の他 [‡]	木廷	古刀丛	2	一部委託	E	✓ 41	補助等
		基本構想(政							実施計画					業の開始			
	総合計画	基本計画(施						0	1 該当		^z 成	年	~	令和	年	☑ 期間	間設定なし
		主要施策	(1)	多様な子	·育て支援施策	での推進		①	2 非該当	7	泿拠惉	去令等					
		対象(誰を、 何を)	O歳から	2歳の子ど	もを、保育所等	を利用せ	ず在宅で	で育児	している保護	者							
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的	在宅育児	家庭の心理的・	•経済的負	負担感の	軽減る	を図ります。								
PL		たいのか)	今年度	平成31年	≅3月1日から事	業を開始	i <i>Lt:t:</i> &	り、クー	ーポン交付申請	青につなけ	fるよ ?	対象者へ	の周知	に努めま	す。		
A		具体的にどの	りような活	舌動を行し	ゝますか。(主な	なもの5つ	oまで)										
N		1															
	事業の	2															
	活動内容	3															
		4															
		⑤															
		指標名	各	計算式又	(は指標設定理	里由 単			平成 30			令和 元	年度	令和	2	年度	最終目標
	数値目標	クーポン交付		 クーポン3	交付枚数	材		標		12000							12000
	(事業の目的			, ,,,,,	~131/22		ラ	[績		4740							
	及び活動内	クーポン利用		 クーポン₹	划用枚数	材		標		12000							12000
	容の達成度 を測る指標)			, , , ,			j	[績		(
	ではらの1月1年/							標			-						
	マケまり	<u> </u>		ήп.	∧ =1			[績		l - - -		旧去岩坑	I #		=		如极难
	予算費目	会 計	l T	一般				民生 =		項		児童福祉			1		祉総務費
		国庫支出		成 3			什	元	年度決算	令和	4	2 年	度予算	日標	<i>六 /++</i>	備考	
		県 支 出	金		23 =	千円 イ 四			<u>千円</u> 千円					9 0歳 1			5 400 k ⁄z
		地方				千円			<u> </u>	+			<u> </u>				4,200枚
D	直接事業費	その他特定則				千円 千円			<u> </u>					ᆜᇫᄺ			2,400枚
O		一般財	源		454 -				<u> </u>				<u>''</u> 千F	【実績			
		計(A)	nis.		477 =				0 千円				0 ↑ F	計とくしま		ポン 4,7 ₀	
		正職員工数:	経費	人	0 =		人		0 千円		人		0 1 F		クーオ	マン 81	0枚
	人件費(B)	臨時·嘱託聯									- \						
		臨時·嘱託工数·		人	0 =	千円	人		0 千円		人		0 ∓F	9			
	全体事	業費(A+B)			477 =				0 千円				0 ∓F				

				チ:	ェック項目					_	次評值	5		_	-次評価(の説明	明		二次	評価	ī
		1.					が確保できる等 ジ響は大きくな		0	少ない	0	大きし	い		と家庭の心 でのため必			0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政権	犬況の中、次	年度以降実	施す	トる緊急性が認	ぬられない。	0	ない		ある						0	ない	•	ある
	女性	3.	住民満足度の	向上のために、	現在の手段	3、方	法等の改善の余	余地がある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
		4.		の低下がみら ビスとなって		[隣自	目治体と比較し	ノてニーズを	0	いる	•	いなし	۸,					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するために	、事業内容	₹が必	ずしも適切とは	はいえない。	0	いえなし	γ	いえる	3		前年度で 価するに			0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ンネリ化など、	施策への貢	献度/	が著しく高いと	はいえない。	0	いえない	γ	いえる	3	す。	ш у отс	(O, F.)	VII-1-1	0	いえない	•	いえる
CH	効性	3.	市が実施する	る施策の中で	類似・重複	した	- 事務事業が存	存在する。	0	する	•	しなし	۱,					0	する	•	しない
E		4.	事業の継続る	をしても成果	の向上が期	待て	できない。		0	できなし	,	できる	3					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗状	況が劣って	いる	ると思う。		•	目標に	比べて貧	片ってい	る		前初年度で のみの実			0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	対して成果が	あまり上が	「つて	こいないと思う	j _o	0	あまり上	がってし	いない			には至って			0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目	標を達成し	てし	いると思う。		0	概ね達	成してに	いる						0	概ね達成	してい	გ
		4.	目標設定に対	対して十分に	目標を達成	えして	こいると思う。		0	十分達	成してい	いる						•	十分達成	してい	3
		1.	効果に比べて	てコストが高	l۱°				0	高い	•	適当		既存サー	・ビスの利 きることで			0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	本のノウハウ	や新たな制	度を	と活用できる。		0	できる	•	できた	はい	用の促進				0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	と成果の関係	で、実施手	段等	ទを見直す余 地	也がある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	約方法の変更	などにより	リコス	スト削減の余地	しがある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
					_	次評	価								=	次評	価				
	評値	三点	必要性	有効性	達成原	茰	効率性	総合評	価		必要	性	4	与 効性	達成	叓	効率	生	総	合評	価
	△ ½	を の	4 ○ 拡大·充	4 ★宝 ⑥ 珇		0	<u> 4 </u> 方法改善	B ○ 民間委詞	千生		4 坊-	 大 · 充 ː	宔		<u>4</u> ・維持		<u>4</u> 方法改善	É		A 表	4 笙
		句性	○ 縮小		冬期設定		<u> </u>	〇 以间安日	——————————————————————————————————————)縮/		$\frac{\overline{}}{}$	統合/終			<u>万丛战</u> 廃止/休		O KIF	134	
A			0 411	10 100 111	~///L//		70				11111	_		評価での					の相違点	į	
TIO		面の	事業の周知に	こ課題がありま	す。									きの方法		印し自	宅で育児	を行	う家庭の	援助 [:]	を行い、
N	اع	革案 実行 ·画	広報や阿波市	市ホームペー シ	ごでの周知で	を行し	います。			児	,童福社	止の向	上に	:努めます	0						
		員会 事項																			

	No. 17 —	23 基本事務事	業名認知	定こども園	施設整備事業	事務事	業名 認定	定こども園施		<u> </u>	公的関与 6	シート作			8月13日
	部局名	侹	康福祉	.部	課名	子育て支	援課	主務課長	長名	/]	・松 隆	シート作	成者名	藤ま	‡信良
	事業区分	○ 1 ソフト			3 経常的事務事			金•負担金•〕		車業温	1'D'	1 直営			部委託
	争未区力	2 ハード			4 施設の維持管	理	6 内部	管理事務・そ	_	事 未足		2 一部委		4補.	助等
		基本構想(政	(策) 1.	やさしく健	やかな阿波			実施計画			:	事業の開	始∙終了		
	総合計画	基本計画(施					<u> </u>	1 該当		平成	年 ~	令和	2 年 🗌	期間語	没定なし
		主要施策	(1))多様な子	·育て支援施策の	推進	0	2 非該当		根拠	去令等 認定	こども園法	=		
		対象(誰を、 何を)	就学前6	の子ども及び	び子育て世代										
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的		ての地域において をつくります。	認定こども	園を整備	制し、質の高い	教育∙	保育の提	供と地域の子育	育て支援の	充実を図り、	安心し	て子育てで
PL		たいのか)	今年度												
AN		具体的にどの	りようなえ	舌動を行し	ゝますか。(主なも	の5つま	で)								
N)			地区・大俣地区)										
	事業の)			ことも園施設整備	iの支援(ホ	市原地区	•市場地区•久	、勝地区	☑•林地区	.)				
	活動内容)			関連事業の実施										
)			各関係機関との連続		実施								
)			園施設整備補助金3										
		指標名	<u> </u>	計算式又	は指標設定理由	単位		平成 3	0 年 5		令和 元 年度		計 2 年 原		最終目標
	数値目標	認定こども園数				康	目標			3		3		8	9
	(事業の目的						実績 目標			3		3			
	及び活動内 容の達成度						実績							_	
	を測る指標)						目標								
							実績							_	
	予算費目	会 計		一般	会計	款		 主費		項 3	児童福祉費		目 10 認足	まこと:	· 見費
	,,,,,,		7	Z 成 3		令和	元	年度決算	令		2 年度予	算		考	
		国庫支出	金	·	6,301 千円			244,425 ∓1				千円			
		県 支 出	金		795 千円			335,770	9			千円			
	直接事業費	地 方	債		44,200 千円			749,200 千日	"		474,700	千円			
D	但按爭未負	その他特定則	け源		千円			千日	၂			千円			
0		一般財	源		15,173 千円			97,658 ∓1	"		66,684	千円			
		計(A)			66,469 千円		1	<mark>,427,053</mark> 千日			541,384				
		正職員工数·紀		.000 人	17,415 千円	3.000	人	18,113 ∓ı	円 2.0	000 人	12,235	千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託聯													
	A /!	臨時·嘱託工数·	経費	人	0 千円		人	0 1 1		人		千円			
	■ 全体事	業費(A+B)			83.884 千円		1	.445.166 千日	Ч		553,619	千円丨			

				チェ	ック項目					一次	評価		_	·次評価の	D説明			二次	評価	
		1.		くても、公平 事業を廃止・					〇 少	ない	大き	٠L١	質の高い 域の子育				0	少ない		大きい
	必	2.	厳しい財政状	代況の中、次年	F度以降実	施す	る緊急性が認	ぬられない。	ない	۸,	ある		せることを	目指して	策定された	=	0	ない	•	ある
	要性	3.	住民満足度の向	う上のために、	現在の手段	ž、方	法等の改善の統	戻地がある。	<u></u>	3	● ない		整備計画	」に基づき		る	0	ある	•	ない
		4.)低下がみられ ごスとなってし		隣自	治体と比較し	,てニーズを	○ w	3	● いな	い	事業のた	め必要性	が高いで	す。	0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を写	実現するために	、事業内容	が必	ずしも適切とは	はいえない。	○ <i>い</i> ź	えない	● いえ	る	民間と公式かした教育				0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	/ネリ化など、放	施策への 貢	献度が	「著しく高いと	まいえない。	● いź	えない	○ <i>い</i> え	る	供を図る	ことができ	ることから	,	0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	施策の中で類	頁似・重複	した	事務事業が存	在する。	する	3	しな	い	多様化すとともに、				0	する	•	しない
HE		4.	事業の継続を	しても成果の	つ向上が期	待で	きない。		<u></u> ਾ ਰ	きない	● でき	<u>გ</u>	営等を行 [.]	うことがで	きます。		0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	けして進捗状況	兄が劣って	いる	と思う。		○ 目柱	漂に比	べて劣ってい	る	大俣認定				0	目標に比っ	べて劣	っている
- '	達	2.	目標設定に対	して成果があ	ちまり上が	うて	いないと思う	0	<u></u>	きり上か	「っていない		園及び民	間事業者		ども	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	けして概ね目標	票を達成し	てい	ると思う。		● 概	ぬ達成	している		園の整備 久勝・林均				•	概ね達成	してい	3
	,	4.	目標設定に対	けして十分に目	目標を達成	えして	いると思う。		O +3	分達成	している			2年3月に	竣工、4月	. –	0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	コストが高い	١,				〇 高	い	適当	á	民間事業				0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	のノウハウャ	5新たな制	度を	活用できる。		<u></u> ਾ ਹੋ	≛ る	● でき	ない	国・県の初に、市の負	負担につい	いては、後	年	0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	:成果の関係で	で、実施手	段等	を見直す余地	がある。	<u></u>	3	● ない		度の元利 置のある [・]				0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	方法の変更な	ょどにより	コス	ト削減の余地	がある。	<u></u>	3	ない		います。	_ ,,,,,,,,			0	ある	•	ない
					_	次評	価			П				=	次評価					
	評値	西点	必要性	有効性	達成原	茰	効率性	総合評	価	Į.	必要性	1	有効性	達成原	复一刻] 率性	Ė	総	合評	価
			4	3 実 ○ 現物	<u>3</u>		4 十::: : : : : : : : : : : : : : : : : :	A ○ 民間委記	イ <u>たた</u>	\bigcirc	 拡大·充	<u> </u>	4	3	<u> </u>	4	<u> </u>		A 引委託	r ///-
		後の 句性	○ 拡大・充	★ ● 現1 ★ ● 現1 ★ 統合/終			方法改善 廃止/休止	〇 民間委託	1寸	8	<u> 払入・元</u> 縮小	美 ()	● 現状 統合/終	維持期設定	○ 方法○ 廃止				少百	L 守
A	73 1	~) II		も園及び民間				場・久勝・林地	区の認	$\overline{}$			評価での					D相違点	1	
T	当市	面の		ついては遅滞す									. _Н ры С 97	7 H 기리 구 및		VHII		- 14 KE M		
i		題		る大俣地区の				が円滑に進む	よう関係	民間	事業者が	『事業	きを進めてし	ハました村	i原·市場·	久勝	• 林こ	ども園、	またな	公立の伊
Ň	ᇔ	革案		図り事業を進め						- 沢部	限定こども[園は、	、令和2年4	月1日に	園し、現					
	اع		市・関係機関が滞なく事業を対	が当該事業に 進めていきます	おける情報 · 	の共 	有•連絡調整/	など連携強化を	を図り、遅 	年4	月1日の開	園に	- 可け事業 	を進めてし 	います。					
		員会 事項																		